

第3次鎌倉市総合計画
第4期基本計画等策定に係る
市民対話
報告書

平成31年3月
共創計画部政策創造課

目次

1. プロジェクト概要 市民対話の目的とプロセス P.3

- 1.1 市民対話実施の背景と目的 P.4
- 1.2 市民対話のテーマ設定 P.5
- 1.3 市民対話の進め方 P.6
- 補足：共創プロセスの企画・運営における考え方 P.7
- 1.4 市民対話実施詳細 P.8

2. 市民対話サマリー 基本計画への示唆 P.10

- 2.1 2030年鎌倉市のありたい姿 P.11
- 補足：第2回市民対話結果と2030年鎌倉市のありたい姿の関係性 P.12
- 2.2 2030年鎌倉市のありたい姿に向けて、共創を生み出す問い P.13
- 補足：共創を生み出す問い P.14
- 補足：「2030年鎌倉市のありたい姿」と「共創を生み出す問い」の対応関係 P.15
- 2.3 共創を生み出す問いに応えるプロジェクトアイデア P.19
- 2.4 プロジェクトアイデアから抽出できる共創活動で大事にしたいポイント P.21
- 2.5 共創関係の継続に向けて P.22

3. 市民対話各回のアウトプット P.23

- 3.1 鎌倉市の魅力9要素 P.23
 - 3.1.1 鎌倉地区の魅力 P.24
 - 3.1.2 腰越地区の魅力 P.27
 - 3.1.3 深沢地区の魅力 P.28
 - 3.1.4 大船地区の魅力 P.29
 - 3.1.5 玉縄地区の魅力 P.31
- 3.2 2030年の鎌倉市の未来の物語 P.32
 - 3.2.1 経済Aチーム P.33
 - 3.2.2 経済Bチーム P.34
 - 3.2.3 経済Cチーム P.35
 - 3.2.4 社会Aチーム P.36
 - 3.2.5 社会Bチーム P.37
 - 3.2.6 社会Cチーム P.38
 - 3.2.7 環境Aチーム P.39
 - 3.2.8 環境Bチーム P.40
- 3.3 共創を生み出す問い P.41
 - 3.3.1 どうすれば、住んでいて心地よい鎌倉にできるだろうか？ P.42
 - 3.3.2 どうすれば、地域の中に人が集まりたいところ、開かれた安全な場所を作れるだろうか？ P.43
 - 3.3.3 どうすれば、ストレスなく鎌倉で過ごせるだろうか？ P.44
 - 3.3.4 どうすれば、空き家を使って事業を運営したい人が生み出せるだろうか？ P.45
 - 3.3.5 どうすれば、空き家オーナーに空き家活用の良さを伝えられるだろうか？ P.46
 - 3.3.6 どうすれば、子ども・地域住民・観光客・移住者・行政を含めて多世代の交流の場を作れるだろうか？ P.47
 - 3.3.7 どうすれば、鎌倉に関わる人が生き生きと元気に深沢で過ごせるだろうか？ P.48
 - 3.3.8 どうすれば、地域への愛着・地域性を育む学校教育プログラムができるだろうか？ P.49
 - 3.3.9 どうすれば、フリーランスの若者や外国人などが簡単に家を借りられるだろうか？ P.50
 - 3.3.10 どうすれば、玉縄に世代を超えて地元住民と外の人が集まる場を作れるだろうか？ P.51
 - 3.3.11 どうすれば、鎌倉の居住区の新しい魅力を作り、発信できるだろうか？ P.52
 - 3.3.12 どうすれば、あなた（大人）の生きている姿を子どもたちに見せたいだろうか？ P.53
 - 3.3.13 どうすれば、鎌倉市民全員が防災訓練に参加するようになるだろうか？ P.54

3.4 プロジェクトアイデア P.55

- 3.4.1 駄菓子屋deつながろう P.56
- 3.4.2 空き家めぐりツアー P.57
- 3.4.3 空き家でアーティスト・イン・レジデンス P.58
- 3.4.4 もったいない食堂 P.59
- 3.4.5 深沢ミュージックフェスティバル P.60
- 3.4.6 大船フェス P.61
- 3.4.7 市民で作るバスルート P.62
- 3.4.8 目に見える鎌倉SDGs P.63
- 3.4.9 市議会子ども参加DAY～7世代先の鎌倉のために P.64
- 3.4.10 My避難所～1人でいけるもん。近所の人も連れて行けるようになるもん♪ P.65
- 3.4.11 宿泊型の防災訓練 STAY&SAFE P.66

4. まとめ まとめと今後に向けて P.67

1. プロジェクト概要

市民対話の目的とプロセス

1.1 市民対話実施の背景と目的

背景

第4期基本計画の策定に向けた市民対話の実施と、市民との共創関係の構築

- 総合計画は、基本構想・基本計画・実施計画の三層構造で構成される。現在、第3次鎌倉市総合計画（平成8～37年度：1996～2025年）における最後の基本計画として、第4期基本計画（平成32～37年度：2020～2025年）を策定しようとしている。
- 鎌倉市はSDGs未来都市に選定されており、また、総合計画（基本計画）の改定等についての取り組みが自治体SDGsモデル事業として選定されている。第4期基本計画の策定にあたっては、バックキャスティング型の政策立案を目指すため、多様なステークホルダーの意見を聴き、共に鎌倉の未来を考える市民対話を実施する。さらに、市民対話の参加市民との共創を推進できるシステムづくりを行っていきたいと考えている。

目的

市民をはじめとする想いのある多様なステークホルダーと行政職員の信頼関係を構築し、鎌倉市の未来を共創できる状態を築く

そのためには、次の2つの要件を満たす必要がある。

1. 多様な主体の参加

- 行政区域ごとに、市民、団体、地元企業、NPO等の、想いのある多様な主体が参加していること

2. 共創プロセスの実践

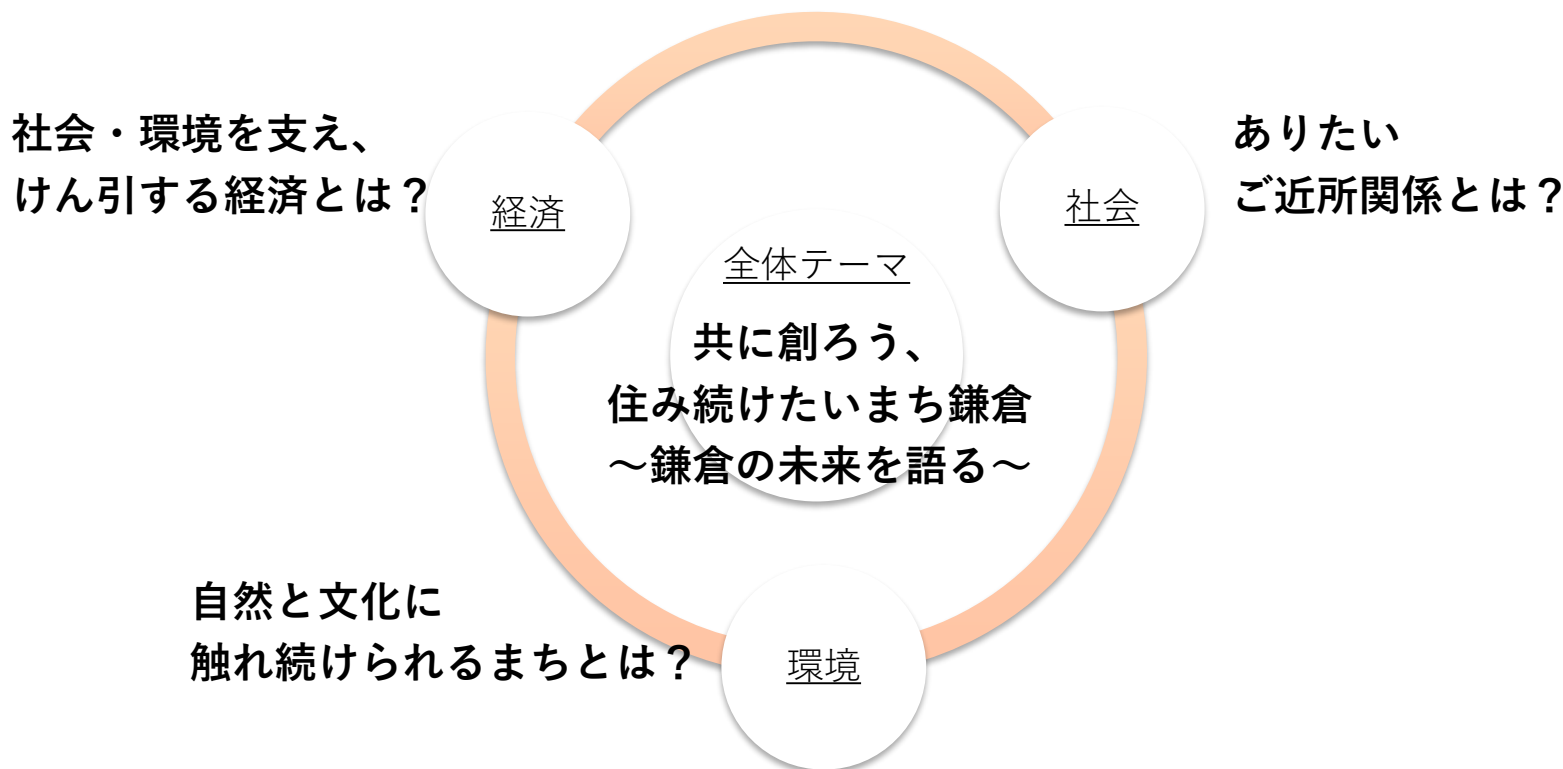
- 互いの個性や価値観を認め合い、柔軟な発想で取り組みながら、参加者が鎌倉の未来をジブンゴトで創造していく共創プロセスを進められること

1.2 市民対話のテーマ設定

SDGsが目指す「経済」「社会」「環境」の三側面が好循環する計画とするため、鎌倉市の将来像を描くにあたり「経済」「社会」「環境」に関する3つの問いと、それらを統合する全体テーマを設定した。

また、これらの問いに関して共創できそうな市民・団体・地元企業・NPOなどを参加者候補として選定・公募し、市民対話に丁寧に招き入れることによって「多様な主体の参加」につなげた。

第2回市民対話では、2030年のありたい姿を描くにあたって、参加者にこれらの問いについて投げかけており、市民対話のプログラムにおいても活用している。



1.3 市民対話の進め方

前半を「鎌倉市の将来像を描く対話」、後半を「鎌倉市の将来像を実現するための対話」と位置づけてそれぞれ2回ずつ、合計で4回の市民対話を実施した。

市民対話を通じて参加者の間に共創関係が構築され、終了後も市民対話から生まれたアイデアの実現に向けて関係性が継続されることを意図して運営した。

鎌倉市の将来像を描く対話

#1

地域の魅力を 集める

- 鎌倉・腰越・深沢・大船・玉縄の5つの地区の魅力9要素（モノ・コト・ヒト・トコロ・カコ・ミライ・ワザ・クウキ・シゴト）を集める。
- 魅力9要素を起点に、2030年、鎌倉市が取り上げられた新聞の一面を描く。

#2

鎌倉市の ありたい姿を描く

- 経済・社会・環境の3つの観点ごとに分かれチームを作り、それぞれの問いに応える「2030年の鎌倉市の未来の物語」を描く。

第4期基本計画の策定
に活用する範囲

鎌倉市の将来像を実現するための対話

#3

共創のための 問いを生み出す

- 鎌倉・腰越・深沢・大船・玉縄・エリア横断で分かれ、2030年のありたい姿の実現に向けて、共創活動を生み出すための問いを検討する。

#4

共創アイデアを 探索する

- 参加者各自の関心に応じて第3回で生まれた問いに分かれ、それに応えるプロジェクトアイデアを企画する。

共創関係の継続

補足： 共創プロセスの企画・運営における考え方

市民対話参加者と鎌倉市の未来を共創できる状態を築くためには、次の3点を担保する必要がある。これらのポイントをふまえ、市民対話のプログラム設計や当日の運営を行った。

1. 信頼関係を構築する

市民対話参加者の間に良い関係性が構築されていることが、継続的な関わりやアクション実行へと繋がる。良いアイデアが生まれても、信頼関係がなければ、共創には至らない。

- 参加者間の信頼関係の構築に向けて、少人数で適宜メンバーを変えながら対話するなどの対話手法を活用する。

2. 参加者のジブンゴトを引き出す

参加者の要望や意見をただ集めるだけでなく、テーマに対して「ジブンゴトで取り組んでみたい問いやアイデア」を引き出すことが、その後のアクション実行へと繋がる。

- 市民対話の設計には、創造的な対話手法の考え方を取り入れる。創造的な対話手法は、「参加者に自分で決めてもらう」ことを、設計思想として持つ。
- 参加者のジブンゴトのアイデアを引き出すことができる対話手法を活用する。

3. 自発的なアクションを生む環境を整備する

市民対話の場だけでなく、その間をつなぎ、アクション実行を支援する環境を整備することが、継続的な共創へと繋がる。

- 市民対話の実施支援を委託した株式会社フューチャーセッションズが提案した、共創活動を可視化・支援するITシステムを活用する。
- 市民対話以外で、参加者が集まって懇親する場の設定・運営をサポートする。



創造的な対話手法の設計思想

1.4 市民対話実施詳細

鎌倉市の将来像を描く対話

第1回 地域の魅力を集める

- 日時：2018年12月1日 13:30～16:30
- 場所：福祉センター
- 詳細：<https://www.ourfutures.net/sessions/2985>

プログラム：

1. 市民対話の目的や進め方を共有する

- **イントロダクション**：市民対話の目的や進め方について
- **ストーリーテリング**：2人組で自己紹介
- **手あげアンケート**：住んでいるエリアなど、どんな人が参加しているのか手あげで可視化

2. 鎌倉市の魅力を集める

- **魅力を付箋に書く**：鎌倉・腰越・深沢・大船・玉縄の5つのエリアごとに、9つの観点（モノ・コト・ヒト・トコロ・カコ・ミライ・ワザ・クウキ・シゴト）で鎌倉市の魅力を各自付箋に記述
- **ワールドカフェ**：途中でメンバーを入れ換えながら、テーブルごとに各自が書いた鎌倉市の魅力を共有

3. 「2030年の鎌倉」が取り上げられた新聞の一面を描く

- **未来編集会議**：鎌倉市の魅力9要素を起点に、2030年に鎌倉市が取り上げられた新聞の1面を描く
- **発表**：各チームが作成した2030年の新聞の発表
- **クロージング**：次回の案内

#1

第2回 地域の魅力を集める

- 日時：2018年12月22日 10:00～13:00
- 場所：福祉センター
- 詳細：<https://www.ourfutures.net/sessions/2986>

プログラム：

1. 市民対話の目的や進め方を共有する

- **イントロダクション**：市民対話の目的や進め方、第1回市民対話の振り返り
- **ストーリーテリング**：2人組で自己紹介

2. 社会・経済・環境の観点から2030年の鎌倉のありたい姿を考える

- **ワールドカフェ**：途中でメンバーを入れ換えながら、社会・経済・環境の3つの観点から、2030年のありたい姿について対話
社会：2030年、ありたいご近所関係とは？
環境：2030年、自然と文化に触れ続けられる街とは？
経済：2030年、社会・環境を支え、けん引する経済とは？

3. 「2030年の未来の物語」を描く

- **チームづくり**：社会・経済・環境の3つの観点ごとに分かれ、その中でチームづくり
- **クイックプロトタイピング**：「2030年の未来の物語」の主人公、起承転結のストーリー、物語のタイトルを検討
- **発表**：各チームが作成した2030年の未来の物語を発表
- **クロージング**：次回の案内

#2

1.4 市民対話実施詳細

鎌倉市の将来像を実現するための対話

第3回 地域の魅力を集める

#3

- 日時：2019年2月2日 9:15～12:00
- 場所：鎌倉芸術館
- 詳細：<https://www.ourfutures.net/sessions/2987>

プログラム：

1. 市民対話の目的や進め方を共有する

- イントロダクション：市民対話の目的や進め方、第1～2回市民対話の振り返り

2. やってみたい共創活動を考える

- 3人組での対話：3人組で、2030年鎌倉市のありたい姿に向かってやりたいことについて対話
- 共創テーマを考える：各自、2030年の鎌倉市のありたい姿に向かってやりたいことを紙に記述

3. 「問いを」生み出す

- マグネットテーブル：5つのエリアごとに分かれて、どのような共創活動を生み出したいか一緒に検討するチームづくり
- クイックプロトタイピング：チームで、共創を生み出す問いを検討
- 発表：各チームが考えた問いを発表
- クロージング：次回の案内

第4回 地域の魅力を集める

#4

- 日時：2019年2月24日 9:30～12:30
- 場所：鎌倉女子大学
- 詳細：<https://www.ourfutures.net/sessions/2988>

プログラム：

1. 市民対話の目的や進め方を共有する

- イントロダクション：市民対話の目的や進め方、第1～3回市民対話の振り返り

2. アイデアを広げる

- チームづくり：第3回市民対話で生まれた問いごとに集まってチームづくり
- ブレインストーミング：問いに応えるアイデアをたくさん出す
- ドット投票：ぜひ実行したいアイデアに1人3票で投票
- アイデアの評価：2票以上入ったアイデアを、実現性と有効性の2軸で評価

3. プロジェクトアイデアをまとめる

- クイックプロトタイピング：実現性と有効性が高いアイデアを中心に、プロジェクトアイデアを具体化
- プロジェクトアイデアを応援しあう：すべてのプロジェクトアイデアを壁に貼り出し、応援したいと思うものに各自コメントを付箋に書いて貼る
- チェックアウト：この市民対話で生まれた共創関係が今後どうなっていきたいか、各自が付箋に記載
- クロージング：今後について

2. 市民対話サマリー 基本計画への示唆

2.1 2030年鎌倉市のありたい姿

第1・2回として開催された鎌倉市の将来像を描く対話より、2030年鎌倉市のありたい姿に対する市民の思いとして、「経済」「社会」「環境」の観点ごとに次の要素が抽出された。

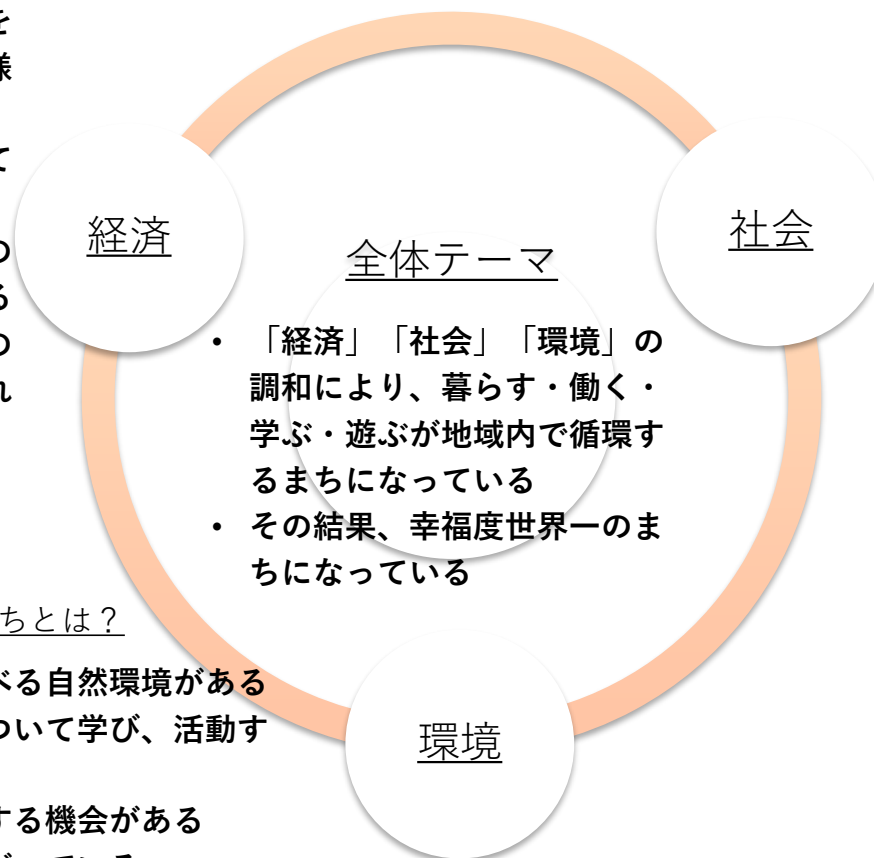
これらの要素が、基本計画に反映することを想定している。

社会・環境を支え、けん引する経済とは？

1. 地域経済を循環させる起業を促進する仕組みがあり、多様な人が活用している
2. 地域内で経済循環が生まれている
3. 鎌倉の資源を促進するための他地域との交流が増えている
4. このような仕組みが鎌倉発のモデルとして世界に認知されている

自然と文化に触れ続けられるまちとは？

1. 障害等の有無に関係なく遊べる自然環境がある
2. 鎌倉市にある自然や文化について学び、活動する機会にあふれている
3. 異文化について学び、交流する機会がある
4. 地産地消が環境保全につながっている



ありたいご近所関係とは？

1. 地域通貨の活用など、お互いさまの関係で助け合いが促進されている
2. 多世代・多文化共生の関係で、差別もなく交流が活発になっている
3. 鎌倉内にある人材や物資や自然などの資源に気づき、活用しあえている
4. 鎌倉市で働く人たちや起業家の横のつながりがご近所関係になっている
5. 地域参画型の学校教育が実現できている

補足：

第2回市民対話結果と2030年鎌倉市のありたい姿の関係性

前ページで示した2030年鎌倉市のありたい姿は、第2回市民対話のアウトプットである「2030年の未来の物語」に描かれた要素をまとめたものである。要素ごとに表記されている括弧内の文字列は、32ページ以降にあるチーム名に対応しており、元となる物語を確認することができる。

「経済」：2030年、社会・環境を牽引する経済とは？

1. 地域経済を循環させる起業を促進する仕組みがあり、多様な人が活用している
 - i. 企業・行政・地域の人が交流するためのコミュニティスペースがある（経済A）
 - ii. 地域経済を循環させるための取り組みが多数なされている（経済C）
 - iii. 多様な人の得意を活かしてビジネスができる仕組みができている（経済A・B、環境B）
2. 地域内で経済循環が生まれている（経済A）
3. 鎌倉の資源を促進するための他地域との交流が増えている（経済B・C）
4. このような仕組みが鎌倉発のモデルとして世界に認知されている（経済A）

「社会」：2030年、ありたいご近所関係とは？

1. 地域通貨の活用など、お互いさまの関係で助け合いが促進されている
 - i. お互い様という関係で地域で助け合っている（社会A）
 - ii. 助け合いを促進する地域通貨が流通している（経済C、社会A・C）
2. 多世代・多文化共生の関係で、差別もなく交流が活発になっている
 - i. 人種などの差別がなく住民として受け入れられる（環境B）
 - ii. 異文化交流の機会がある（環境B）
 - iii. 豊かな自然の中で世代を超えて遊び交流する機会がある（社会A・C）
3. 鎌倉内にある人材や物資や自然などの資源に気づき、活用しあえている
 - i. 鎌倉市にある多様な資源に気づきあえる（社会B）
 - ii. 鎌倉市にある多様な資源を活用しあえている（社会B）
 - iii. 多世代の人材資源が活かされている（社会A、環境A）
4. 鎌倉市で働く人たちや起業家の横のつながりがご近所関係になっている（経済B）
5. 地域参画型の学校教育が実現できている（社会C）

「環境」：2030年、自然と文化に触れ続けられるまちとは？

1. 障害等の有無に関係なく遊べる自然環境がある（環境A）
2. 鎌倉市にある自然や文化について学び、活動する機会にあふれている（環境A・B）
3. 異文化について学び、交流する機会がある（環境B）
4. 地産地消が環境保全につながっている（経済B）

2.2 2030年鎌倉市のありたい姿に向けて、共創を生み出す問い

第3回市民対話では、2030年鎌倉市のありたい姿を実現するための共創を生み出す問いを検討した。問いを考えることで、問いを起点に複数のアイデアを検討することができ、一つのアイデアが成功しなかった場合にも、もう一度問いに立ち返って、新たな共創活動を生み出すことができる。

鎌倉

- どうすれば、住んでいて心地よい鎌倉にできるだろうか？
- どうすれば、地域の中に人が集まりたくなる開かれた安全な場所を作れるだろうか？
- どうすれば、ストレスなく鎌倉で過ごせるだろうか？
- どうすれば、空き家を使って事業を運営したい人が生み出せるだろうか？
- どうすれば、空き家オーナーに空き家活用の良さを伝えられるだろうか？

腰越

- どうすれば、子ども・地域住民・観光客・移住者・行政を含めて多世代の交流の場を作れるだろうか？

深沢

- どうすれば、鎌倉に関わる人が生き生きと元気に深沢で過ごせるだろうか？

大船

- どうすれば、地域への愛着・地域性を育む学校教育プログラムができるだろうか？
- どうすれば、フリーランスの若者や外国人などが簡単に家を借りられるだろうか？

玉縄

- どうすれば、玉縄に世代を超えて地元住民と外の人が集まる場を作れるだろうか？

エリア横断

- どうすれば、鎌倉の居住区の新しい魅力を作り、発信できるだろうか？
- どうすれば、あなた（大人）の生きている姿を子どもたちに見せたいだろうか？
- どうすれば、鎌倉市民全員が防災訓練に参加するようになるだろうか？

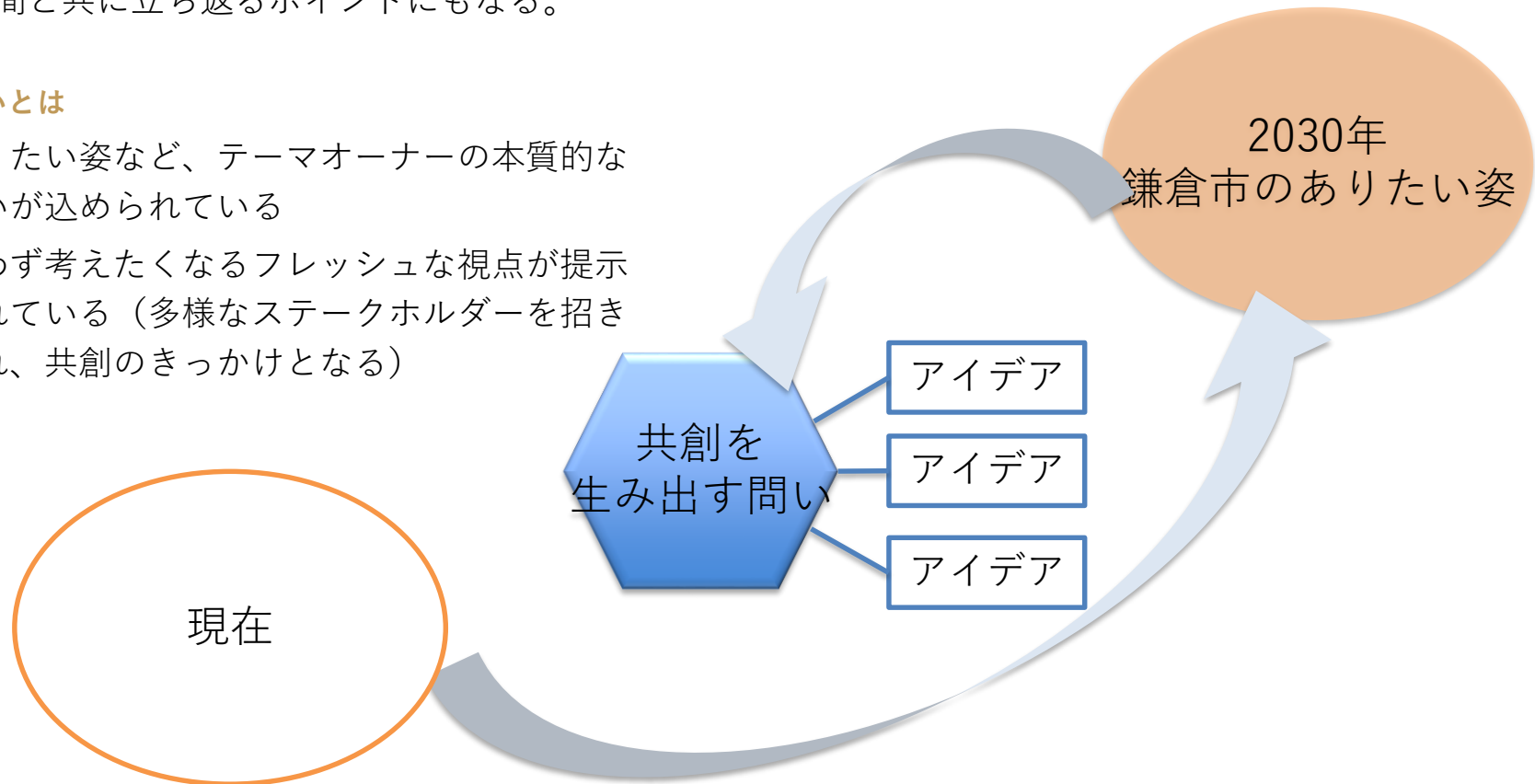
補足： 共創を生み出す問い

問いを考えることのメリット

ありたい姿の実現するためには、1つのアイデアを実行して終わりではなく、多様なステークホルダーと協力しながら試行錯誤し、行動し続けることが求められる。また、必ずしも最初に考えたアイデアがうまくいくとは限らない。共創を生み出す問いを考えることによって、問いが起点となって、様々なアイデアを生み出すことができる。また、アイデアがうまくいかなかった場合には、次に何をするとよいか、仲間と共に立ち返るポイントにもなる。

良い問いとは

- ありたい姿など、テーマオーナーの本質的な思いが込められている
- 思わず考えたくなるフレッシュな視点が提示されている（多様なステークホルダーを招き入れ、共創のきっかけとなる）



補足：

「2030年鎌倉市のありたい姿」と「共創を生み出す問い」の対応関係（1）

第3回のアウトプットである「共創を生み出す問い」が、それぞれ「2030年鎌倉市のありたい姿」のどの要素につながるものなのか、対応関係を整理した。問いを生み出すときに検討したワークシートにある「やりたいこと」「ありたい姿」との直接の関係だけでなく、問いそのものから想起されうる可能性があるものも広く関連付けた。多くの問いが「経済」「社会」「環境」のどれかに寄与するのではなく、複数につながるものになっているととらえられる。

2030年鎌倉市のありたい姿 共創を生み出す問い		経済				社会					環境			
		1	2	3	4	1	2	3	4	5	1	2	3	4
		地域経済を循環させる起業を促進する仕組みがあり、多様な人が活用している	地域内で経済循環が生まれている	鎌倉の資源を促進するための他地域との交流が増えている	このような仕組みが鎌倉発のモデルとして世界に認知されている	地域通貨の活用など、お互いさまの関係で助け合いが促進されている	多世代・多文化共生の関係で、差別もなく交流が活発になっている	鎌倉内にある人材や物資や自然などの資源に気づき、活用しあえている	鎌倉市で働く人たちが起業家の横のつながりが近所関係になっている	地域参画型の学校教育が実現できている	障害等の有無に関係なく遊べる自然環境がある	鎌倉市にある自然や文化について学び、活動する機会にあふれている	異文化について学び、交流する機会がある	地産地消が環境保全につながっている
鎌倉	どうすれば、住んでいて心地よい鎌倉にできるだろうか？					○	○		○		○	○	○	○
	どうすれば、地域の中に人が集まりたくなくなる開かれた安全な場所を作れるだろうか？					○	○	○	○	○			○	
	どうすれば、ストレスなく鎌倉で過ごせるだろうか？					○	○		○		○	○	○	○
	どうすれば、空き家を使って事業を運営したい人が生み出せるだろうか？	○	○	○			○	○	○					○
	どうすれば、空き家オーナーに空き家活用の良さを伝えられるだろうか？	○	○	○			○	○	○					

補足：

「2030年鎌倉市のありたい姿」と「共創を生み出す問い」の対応関係（2）

2030年鎌倉市のありたい姿 共創を生み出す問い		経済				社会					環境			
		1 地域経済を循環させる起業を促進する仕組みがあり、多様な人が活用している	2 地域内で経済循環が生まれている	3 鎌倉の資源を促進するための他地域との交流が増えている	4 このような仕組みが鎌倉発のモデルとして世界に認知されている	1 地域通貨の活用など、お互いさまの関係で助け合いが促進されている	2 多世代・多文化共生の関係で、差別もなく交流が活発になっている	3 鎌倉内にある人材や物資や自然などの資源に気づき、活用しあえている	4 鎌倉市で働く人たちが起業家の横のつながりが近所関係になっている	5 地域参画型の学校教育が実現できている	1 障害等の有無に関係なく遊べる自然環境がある	2 鎌倉市にある自然や文化について学び、活動する機会にあふれている	3 異文化について学び、交流する機会がある	4 地産地消が環境保全につながっている
腰越	どうすれば、子ども・地域住民・観光客・移住者・行政を含めて多世代の交流の場を作れるだろうか？				○	○	○	○	○	○			○	
深沢	どうすれば、鎌倉に関わる人が生き生きと元気に深沢で過ごせるだろうか？					○	○	○	○		○	○	○	
大船	どうすれば、地域への愛着・地域性を育む学校教育プログラムができるだろうか？					○	○	○	○	○	○	○	○	○
	どうすれば、フリーランスの若者や外国人などが簡単に家を借りられるだろうか？	○	○	○	○		○	○	○				○	
玉縄	どうすれば、玉縄に世代を超えて地元住民と外の人が集まる場を作れるだろうか？					○	○	○	○	○			○	

補足：

「2030年鎌倉市のありたい姿」と「共創を生み出す問い」の対応関係（3）

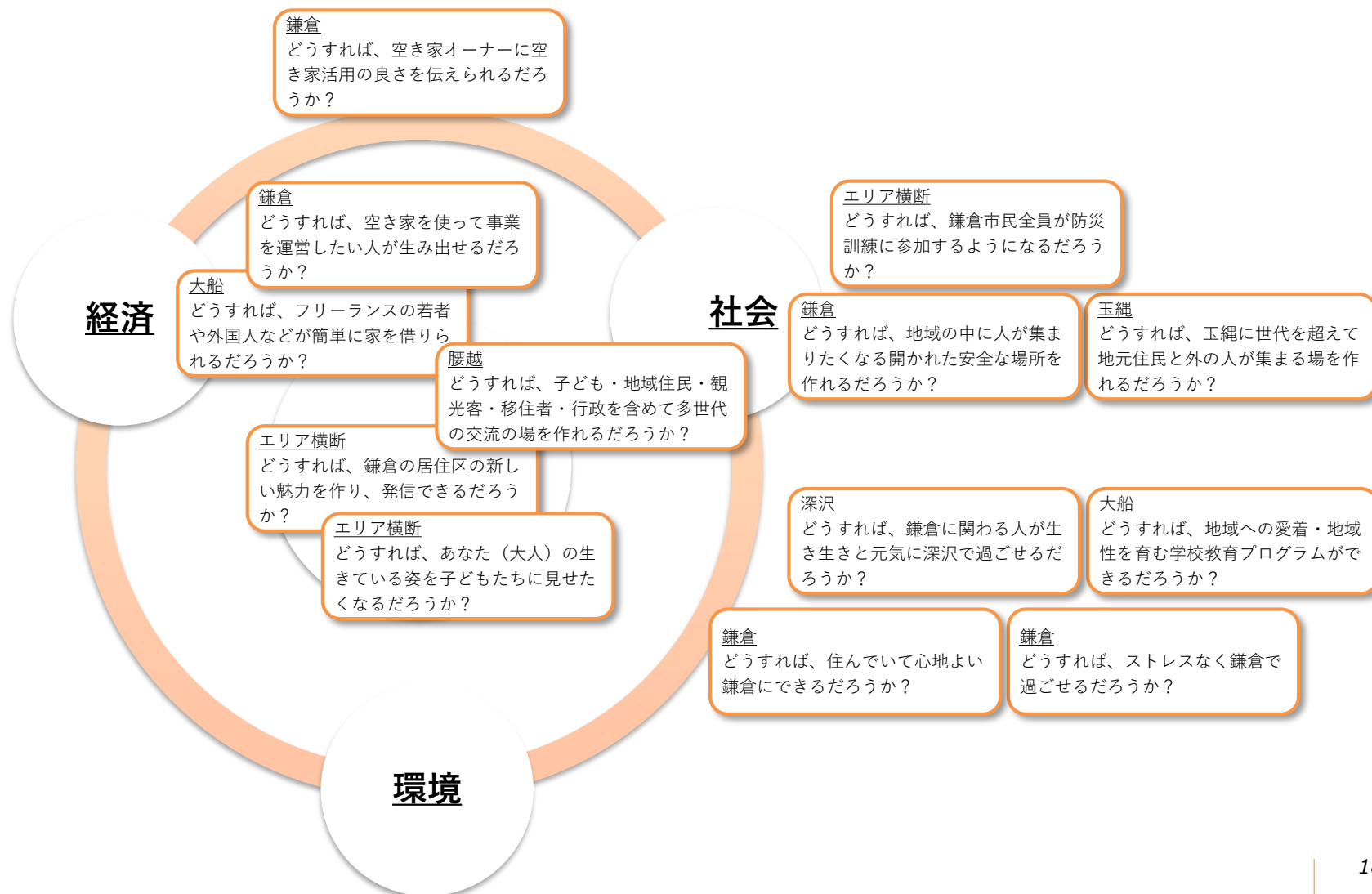
2030年鎌倉市のありたい姿 共創を生み出す問い		経済				社会					環境			
		1	2	3	4	1	2	3	4	5	1	2	3	4
		地域経済を循環させる起業を促進する仕組みがあり、多様な人が活用している	地域内で経済循環が生まれている	鎌倉の資源を促進するための他地域との交流が増えている	このような仕組みが鎌倉発のモデルとして世界に認知されている	地域通貨の活用など、お互いさまの関係で助け合いが促進されている	多世代・多文化共生の関係で、差別もなく交流が活発になっている	鎌倉内にある人材や物資や自然などの資源に気づき、活用しあえている	鎌倉市で働く人たちが起業家の横のつながりが近所関係になっている	地域参画型の学校教育が実現できている	障害等の有無に関係なく遊べる自然環境がある	鎌倉市にある自然や文化について学び、活動する機会にあふれている	異文化について学び、交流する機会がある	地産地消が環境保全につながっている
エリア横断	どうすれば、鎌倉の居住区の新しい魅力を作り、発信できるだろうか？	☐		☐	☐		☐	☐					☐	
	どうすれば、あなた（大人）の生きている姿を子どもたちに見せたいだろうか？	☐	☐			☐	☐		☐	☐	☐		☐	☐
	どうすれば、鎌倉市民全員が防災訓練に参加するようになるだろうか？					☐	☐		☐	☐				

補足：

「2030年鎌倉市のありたい姿」と「共創を生み出す問い」の対応関係（4）

「共創を生み出す問い」と「2030年鎌倉市のありたい姿」の対応関係をもとに、「経済」「社会」「環境」の3つの観点と「共創を生み出す問い」がどのように関連するか位置関係を可視化した。

例：円の中にあるのは前述の対応表で経済・社会・環境にすべて○がついているもの。円の外の社会・環境の間にあるものは社会・環境に○がついているもの等



2.3 共創を生み出す問いに応えるプロジェクトアイデア

第4回では、共創を生み出す問いに応えるプロジェクトアイデアを具体化した。それぞれのプロジェクトアイデアの基となる問いと、プロジェクトアイデアの要約をまとめたものが以下である。プロジェクトアイデアの詳細は、55ページ以降で確認できる。

鎌倉

- **駄菓子屋deつながろう**
 - **問い：**どうすれば、地域の中に人が集まりたくなる開かれた安全な場所を作れるだろうか？
 - **要約：**フリースペースを提供したい人と使いたい人をスマホアプリでつなげ、市民の「やりたい」を身近な開かれた場所で実現すると同時に、地域の人をつながりをつくる

腰越

- **もったいない食堂**
 - **問い：**どうすれば、子ども・地域住民・観光客・移住者・行政を含めて多世代の交流の場を作れるだろうか？
 - **要約：**食品ロスの課題解決を目指す食堂を空き家活用や居抜きでつくり、食や本の読み聞かせなどを通じて世代間交流を行う

深沢

- **深沢ミュージックフェスティバル**
 - **問い：**どうすれば、鎌倉に関わる人が生き生きと元気に深沢で過ごせるだろうか？
 - **要約：**子どもから高齢者まで幅広い年代の市民が参加できる音楽フェスを毎年開催し、好きなことを通じて人とつながり、活動を発信できる場をつくる

大船

- **大船フェス**
 - **問い：**どうすれば、地域への愛着・地域性を育む学校教育プログラムができるだろうか？
 - **要約：**大船在住の小中高大学生が中心になって文化祭のようなお祭りを毎年開催し、地域の中でのつながりを増やし、地域への愛着を育む

玉縄

- **市民で作るバスルート**
 - **問い：**どうすれば、玉縄に世代を超えて地元住民と外の人が集まる場を作れるだろうか？
 - **要約：**3000～4000人の居住地域一つの単位として、生活時間帯にショッピングセンターや幼稚園、介護施設などをまわり、市民の足となるようなバスルートをつくる

2.3 共創を生み出す問いに応えるプロジェクトアイデア

鎌倉市内全域

• 空き家めぐりツアー

- **問い：**どうすれば、空き家オーナーに空き家活用の良さを伝えられるだろうか？
- **要約：**空き家オーナーと空き家を使いたい人をマッチングするツアーを定期開催し、鎌倉市内の空き家の利活用を促進する

• 空き家でアーティスト・イン・レジデンス

- **問い：**どうすれば、空き家オーナーに空き家活用の良さを伝えられるだろうか？
- **要約：**世界中のアーティストに鎌倉市内の空き家を活用してもらい、空き家から新しい鎌倉の文化を発信し、アートのあるまちにする

• 目に見える鎌倉SDGs

- **問い：**どうすれば、あなた（大人）の生きている姿を子どもたちに見せたいだろうか？
- **要約：**SDGsが達成された鎌倉の未来の姿を壁画に描くワークショップを開催。その壁画を市役所ロビーなど開かれた場所に展示し、訪れた市民がさらに加筆することで、多くの市民とまちのビジョンを共有する

• 市議会子ども参加DAY～7世代先の鎌倉のために

- **問い：**どうすれば、あなた（大人）の生きている姿を子どもたちに見せたいだろうか？
- **要約：**子どもたちが鎌倉市のことを考える「子ども幕府」を立ち上げ、子ども幕府の代表者が市議会に参加する

• My避難所～1人で行けるもん。近所の人も連れて行けるよになるもん♪

- **問い：**どうすれば、鎌倉市民全員が防災訓練に参加できるようになるだろうか？
- **要約：**自宅を出発し、地域のチェックポイントをまわり、自分の避難所でゴールする防災イベントを年1回開催することで、市民が避難所まで1人で行けるようにするとともに、防災意識を高める

• 宿泊型の防災訓練 STAY&SAFE

- **問い：**どうすれば、鎌倉市民全員が防災訓練に参加できるようになるだろうか？
- **要約：**鎌倉を4地区に分け、それぞれの地区ある学校で、夏休みに小中高生とその家族、町内会防災部が協力して宿泊型の避難訓練を行い、より多くの人に参加してもらうと同時に地域のつながりをつくる

2.4 プロジェクトアイデアから抽出できる共創活動で大事にしたいポイント

11個のプロジェクトアイデアそれぞれから、より上位の目的としてどのような状況を地域の中に起こしたいのかを分析し、7つの要素を抽出した。これらの要素を今後「共創活動を推進していく上で大事にしたいポイント」としてとらえ、ありたい姿と同様に基本計画の参考にすることで、たとえ市民対話から生まれたプロジェクトアイデアをそのまま実現できなかったとしても、市民が実現したかった状態を推進していけると考えられる。

共創活動で大事にしたいポイント プロジェクトアイデア		ビジョンや地域資源の情報を見える化する	地域資源を提供できる人と使いたい人をマッチングする	同じ興味関心を持つ人とつながり、活動を発信できる場をつくる	地域であいさつできる顔見知りを増やす	子どもがまちづくりに参画できる機会を増やす	身近に感じる地域の場所を増やす	地域内で移動しやすい状態をつくる
鎌倉	駄菓子屋deつながろう	○	○		○			
腰越	もったいない食堂		○	○	○			
深沢	深沢ミュージックフェスティバル			○	○	○		
大船	大船フェス			○	○	○		
玉縄	市民で作るバスルート							○
鎌倉市内全域	空き家めぐりツアー	○	○					
	空き家でアート・イン・レジデンス	○	○	○				
	目に見える鎌倉SDGs		○	○				
	市議会子ども参加DAY					○		
	My避難所					○	○	
	宿泊型の防災訓練 STAY&SAFE				○	○	○	

2.5 共創関係の継続に向けて

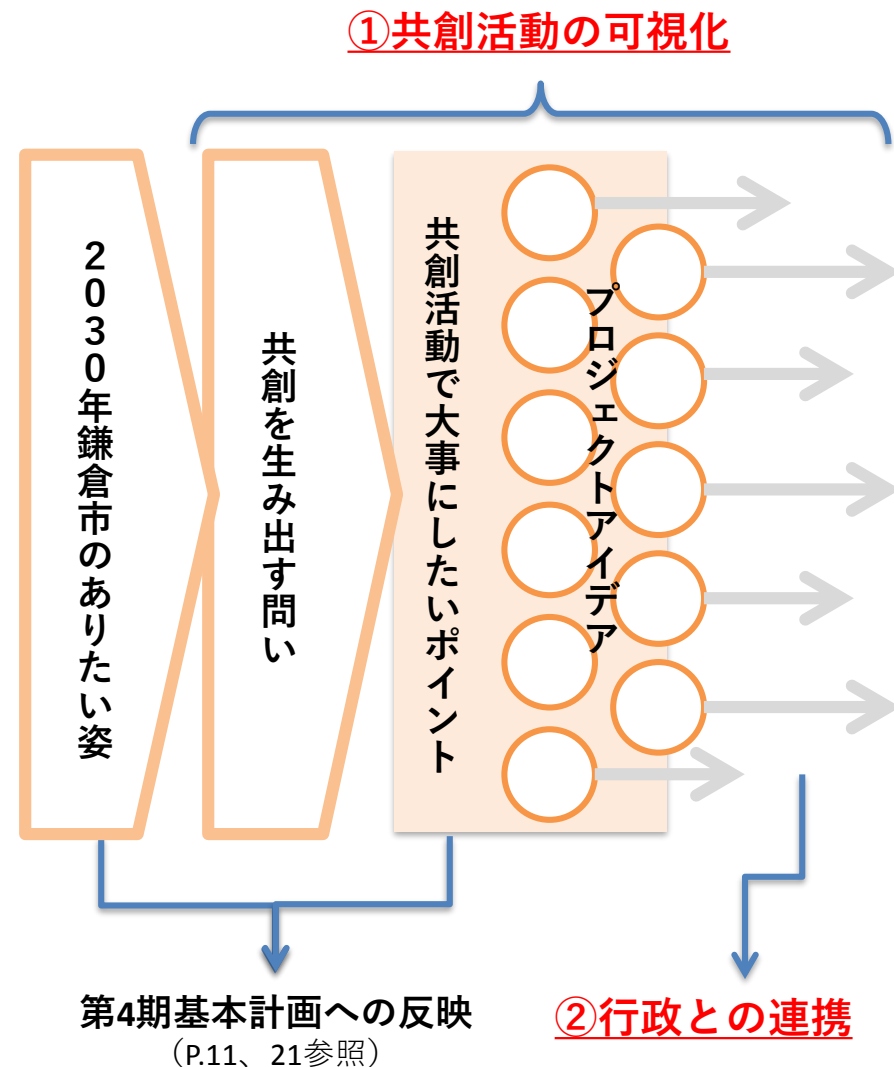
市民対話終了後の共創関係の継続に向けて、鎌倉市は次の2つの役割を担うことが期待される。

1. 共創活動の可視化

市民対話から生まれたプロジェクトアイデアは、参加した市民が中心となって推進することを想定するが、それぞれのチームの力だけでは、新たなステークホルダーとの出会いなど、活動の広がりと深化に課題が生じることが考えられる。鎌倉市が、今回の市民対話から生まれた共創を生み出す問いやプロジェクトアイデア、またその最新情報について可視化・発信することによって、その情報を見た新たなステークホルダーとのつながりが生まれるなどの効果が期待できる。具体的には、今回の市民対話の実施支援の委託業者である株式会社フューチャーセッションズから提案のあった、共創活動を可視化・支援するITシステムとして導入したOUR FUTURESの継続的な活用などが考えられる。

2. 行政との連携

共創活動の可視化を通じて、それぞれのプロジェクトの進捗を把握することによって、必要に応じて市民による共創活動と鎌倉市の事業との連動も考えることができる。このような取り組みを推進するにあたり、市民と共創関係を築く行政職員を増やしていくことが必要であり、市民と鎌倉市をつなぐ職員ファシリテーターなどハブ的な役割を育成することなどが考えられる。



3. 市民対話各回のアウトプット

3.1 鎌倉市の魅力9要素

第1回市民対話にて参加者からあげられた鎌倉市の魅力9要素を5つの地区ごとにまとめた。

3.1.1 鎌倉地区の魅力

モノ	コト	ヒト
海と森に囲まれた街	古都	子育て世代・若い移住者が都内から増えている
素晴らしい海岸の景観	フクちゃんのパス	移住
山の風景	東京から1時間	文人
緑が多い	(正月の)交通規制	文化人
江ノ電	地球変動に伴う都市計画	文学者が多い
京急バスりんどう号	鎌倉文士	鎌倉文士
横須賀線のグリーン車	高名な芸術家	芸能人
古都の寺社	工芸家	若手IT起業家
多くの寺社仏閣	芸家	ものづくりの方が多い
洋館がある	教会と神社と寺が仲良し(企業も)	クリエイター
古民家がある	八幡宮・流鏑馬	カマコン
近代建築別荘地の文化がある	伝統行事(流鏑馬など)	ライトワーカー(ヒーラーなどetc)が多い
井戸	御成小など御成遺産がある	篤志家が学校や国宝館、図書館を建てた
人力車	神事	経験とスキル豊かなシニア
おみこし	祭	高齢者が楽しそうでおしゃれ
鎌倉を空爆から救ったウォーナーの碑がある	ぼんぼり祭	サーファー
今小路西いせき	初詣	観光客
御成小	七五三	若手が元気であきらめてない市民所職員
ロハス的な飲食店	商店街がイキイキ	若くてやる気のある市民
おしゃれなカフェがある	一方さびれてしまった商店街も。(今泉台材木座)	外国人多い(住んでいる人・遊びにくる人)
モーニングからディナーまでおいしいお店がたくさんある	KAMAKON	地域の人が優しい
ロミ・ユニさんのクッキー	かまわTT鎌倉	近所とのつきあい
鳩サブレ	鎌倉じゃず祭	多様性:ありのままでよい
うまいそば	鎌人いち場	アイデアを持っている人がたくさんいる
鎌倉ハム	極楽寺・稲村ヶ崎アートフェスティバル(海と山と歴史とアート)	おもしろい人が住んでいる
くるみっこ(べにや)	プチロックフェスティバル	熱い人が多い
パラダイスのアレイのパン	音楽会(Loop、moin、鷗林洞)	想いがあって成功してて面白い人が多い
ローカルブルーイング(鎌倉ビール)	鎌倉市場	治安がよくいい人が多い
精進料理	ジョギング	楽しい人が多い
鎌倉野菜	ハイキング	心に余裕のある人々(地位や財産だけが幸せではないと知る人々)
色あざやかで朝採れ野菜手に入ること	鎌アルプスでハイキング・トレラン・登山	ライフスタイル重視の人が多い
お店の商品のセレクトが良い	散歩	環境意識の高い人が多い
鎌倉彫り(美しさ、歴史)	蜚鑑賞	海や山が好きな人が多い
貝、流木をつかったモノ	花火	人がのんびりしている
	花火大会がきれい	鎌倉時間がある
	修学旅行	排他的でない
	寺・海・学びの場	おいしいコーヒーをいれてくれるマスター(ビブモンディモンシュ)
	地域のイベントプロジェクト	養老先生
	地域のイベントが多い	楽天大学仲山さん
	町内会イベント	アンノ夫妻
	イベントが楽しい	WIRED編集長松島さん
	気の利いたイベントが多い	カヤック柳澤さん
	お店がやっている楽しいイベント盛りだくさん!	角野栄子さん(国際アンデルセン賞受賞)
	NPOが多い	コバカバうっぽん
	市民運動が盛ん	一花屋ふえりこちゃん
	ブランドイメージ	バタゴニア社社長
	多様な人とつながる	末吉リカさん
	1192ファンドレージング	パラダイスアレイ淳平くん
	映画や漫画などの舞台になっている	女優鶴田真由さん
	物語り映画	頼朝
	グルメ	マインドフル
	zen2.0	自主保育が盛ん
	鎌倉幕府2.0	インクルーシブ聖路加
		イマジン釜部
		同人会がある
		ルートカルチャー

3.1.1 鎌倉地区の魅力

トコロ	カコ	ミライ
海があり山がある	歴史がある	自然活用
森	古代から栄えている(今小路西遺跡)	若宮大路の景観保全
自然(緑)がある	幕府	歩きやすい(アスファルト廃止)道路
源氏山	民がはじめて政治をとった鎌倉幕府	ICができる
緑地に囲まれている	源頼朝が幕府を開いた	未活用地(低)(公共)の活用
ハイキングが街中からすぐハイキングに行ける	日本の首都だった	野村総研跡地の利用
和賀江島	武家歴史	古いものを大切にすることが育っている
海水浴場	明治の別荘	新しいことを積極的に取り入れている
ブルーフラッグ海岸(由比ヶ浜)	別荘文化	人と人の関わりを持つまちにしたい
神奈川県100景の稲村ヶ崎公園	別荘地(避暑地)	団体と団体がつながってほしい
江ノ電	戦国時代からの街並み	自発的市民初のイベントが多い
海沿いの線路	古い建物の保存	SDGsの未来を考えている
134号線国道	古道	欲しい未来を創れる喜び
小町通り	埋蔵物	未来都市
行き止まりの道	発掘現場(日常的に)	助け合える社会
路地	史跡碑	共生
大仏様	空襲受けてない	多世代がイキイキと暮らす・市民活動が活発に
鶴岡八幡宮	鎌倉文士いきつけのお店でみんなが語り合い文化がつくられた	お互いを認めあいそれぞれの居場所・働く場所がある
神社	文豪沢山いた	鎌倉資本主義
寺・禅寺	文人	カマコン
扇湖山荘	画家や芸術家がたくさんすんでいた	IT企業
洋館	芸能関係の人が多い(伝統・芸能人)	高齢者もイキイキと活躍できる
華頂宮邸	鎌倉アカデミア	老年人口の増加(経験値の多さ)
古戦場	歴史館(佐助)	鎌倉で暮らし・働き・遊べるまち
連売	仏道	インバウンドが増えている
御成小	寺がある	世界遺産
今小路西遺跡	座禅	観光拠点(城)
コワーキングスペース	禅発祥の地	観光都市
シェアオフィス	ZEN(世界のZEN・マインドフルネス)	歴史的建造物を保存・共存
ゲストハウス	コバカバ・パラダイスアレイなど魅力的な小商い	職住近接
シェアハウス	馬文化	移住者が増える
ファブラボ	血みどろの歴史から、日本で一番最初に平和宣言	子ども
美味しい食べ物屋	おやつ運動	出生率UPの地域を
モーニングのお店		世代がわり
街で働く人の社員食堂		おしゃれな店が増えている
大新ラーメンがある		新店舗出店が多い
つるや(うなぎ)がある		住宅エリアの命名化
360日駅前で新鮮な野菜が手に入る		古民家を活用できるか
おしゃれな店		空家の有効利用
文学館		大学誘致
映画と文化を発信(川喜多映画記念館)		子どもの施設が増えている
井戸・わき水		学校教育がいい → 未来の子どもたちに期待できる
老後の過ごしやすさ		鎌倉学園甲子園出場
富士山がきれいに見える		オリンピックで盛り上がるかも。
スピリチュアルな土地		ゴミの分別がきれいな地球をつくる
ロケ地が多い		段葛の桜の成長
建築		ケミカルフリー
観光客多く人混み		
混雑する道		

3.1.1 鎌倉地区の魅力

ワザ	クウキ	シゴト
湘南モノレール	自然	在宅で仕事している人が増えている
人力車	山	リモートワーク推進
伝統工芸士	木タルのいる水、川	テレワーク・シェアオフィス
武家文化の伝承を担う人々	森	職住近接
鎌倉彫	森のイオン	フリーランス・個人の方が活躍・自立している方が多い
流鏑馬	小鳥の鳴き声	パン屋・飯食・おかしづくりなど小商いで生きていける
お囃子	空が広い	たくさんの方の事業主
正宗(日本刀)	海	ベンチャー・フリーランスが増加中
香道	海水浴	ユニークな地元企業
茶道	都内より涼しい潮の香りがする	カヤック
能	潮風	カヤック！(市内唯一の上場企業)
三味線	海風がきもちいい	IT系企業
伝統芸能	ハイキングコースが沢山あり空気がきれい	バタゴニア(まだ本社)
座禅	まるで西海岸(広い空と海とおしゃれなお店)	クリエイティブ
造園	小町通りの雑多なまちなみ	ママさんプチ起業
ITスキル	年中賑やかな小町通り	商店
油絵・画伯・工芸	観光客のにぎわい	古着リペアー
サーフィン	老舗の存在感	漁師
マスターのおいしいコーヒーをいれるワザ！(ビブモンディモンシュ)	モテイク模様の多種多様	NPOが多い
ファブラボ	寛容性	NPOでらこや
大学(ツバキ文具店)	新旧混在	働き方の多様性
作家さん	ヨソ者の企画に地元の人が乗っかってくれる	幸せに働く波がきた
カマコンのプレストカルチャーが、全国展開してる	街にワクワク	自由な働き方をしている人がいる(仕事前にサーフィン、テレワーク)
地域のコミュニティ活発、作り手が上手！	鎌倉のことが好きでコミュニティを守りたい	ワークライフの両立
面白い人たちがつながる人間力・コミュニケーションスキル	鎌倉が好きな人がたくさん住んでいる	生き方は幅がある人がいる
	とても親しい・助け合い	自由人
	自由な雰囲気	シェアオフィスがふえた
	リベラル	街中のカフェなどで仕事をしている友達にあえる
	知らない人を寄せ付けない(安全)(閉鎖的)	ボンボンケーキ(行商カルチャー)
	「いいところですね」と言われる	グリーン車通勤
	時間がゆっくり流れている(鎌倉時間)	シルバー人材
	静かな空気感	医療、介護の求人多い(市内全域)
	ゆるい	宿坊
	あえて読まない空気	鎌倉野菜
	過渡期	センスのよいお店
	鎌倉山カルチャー(こっそりステキな人たちの文化)	
	ビーチカルチャー	
	静か&騒がしさのギャップ	
	風水で都市計画されてて気がいい・エネルギー	
	リス	
	土質めっちゃいい	

3.1.2 腰越地区の魅力

モノ	コト	ヒト
江ノ電	海の家	住民が親しい
路面電車	サーフィン	下町人情
モノレール	ヨット	
人力車	腰越の漁港の朝市	
港が近くて魚がおいしい	腰越ちよい飲み	
新鮮な魚	映画(松竹大船・川喜多博物館)	
海産物	骨董市	
しらす	江の島花火が見える	
くるみっこ	お祭り	
鳩サブレ	りょうこう寺祭	
鎌倉ハム	魚がおいしい	
押し寿司		

トコロ	カコ	ミライ
緑と景観	歴史が学べる	緑が守られる
電車道がいい感じ	馬	風致保存
江ノ電路面電車		インクルーシブ
広町緑地		垣根の低い輪
漁港		鎌倉資本主義
江ノ電脇の甘味処		カヤック
七里が浜東西武団地		カマコンパレー
ピオトープ		生シラス
朝夷奈切通し		オリンピックのセーリング会場が近い
スラムダンク		
芸術館の利用		

ワザ	クウキ	シゴト
漁	海と緑	漁港
	いつも空気がさわやか	リモートワーキングオフィスの可能性
	海のおい	

3.1.3 深沢地区の魅力

モノ	コト	ヒト
モノレール	自然が多い	子どもが多い(学校バンク)
大きい道路	大学・研究所・卒業生・ノーベル賞	政治につよい人がある
寺社	町内会活動	主婦のがんばり
広場がある	支え合い活動が活発	活動的な人が多い
登り窯	まちづくり	地域に対して熱心
やぐら	鎌倉万博	
COOP・生協が多い	深沢まつり	
PonPonCakes		
かかん		
鳩サブレー		

トコロ	カコ	ミライ
鎌倉山(木々があり、富士山が見える)	JR工場	新しい施設を受け入れる余地が多い
坂が多い	路線バスを住民の方が通した	大きな土地
モノレール		新駅の可能性
交通機関が集まる		新しいバス路線
中央公園		職・住接近の仕事の場
笛田公園		テレワーク
富士見町		子育て支援活動が活発になる
野村総研の跡地		新大学
構亭		観光・研究・学園都市
扇湖山荘		市役所移転
泣塔		市役所・行政の中心地(税務署・法務書・図書館)
大平山丸山町内会館		深沢地域整備
御惣菜店バイニイ		100年後も住みたい街づくり
レ・シュール		みんなが自由でいい
河野(牛・豚・お肉)		ウェルネス
三菱		
買い物できる場所が多い		
鎌倉の中心(へそ)		
ドラマ・映画の舞台(鎌倉ものがたり、海街ダイアリーなど)		

ワザ	クウキ	シゴト
バイオ研究所・東レ・ロシュ中外	富士山が見える	三菱の製作所
オリンピックの選手もいる徳洲会体操クラブ	富士山まで連なる開放的な雰囲気	中外製薬ロシュ
田畑	空	東レ
	夏涼しく、冬暖かい	NPOが多い
	閑静	農地・畑 多い
		やさしいづくり

3.1.4 大船地区の魅力

モノ	コト	ヒト
モノレール 眺めの良いモノレール 鎌倉芸術祭(世界の一流のアーティストのコンサート) スウェーデン国王夫妻も訪問された介護施設 病院が多い 塾・予備校がたくさん 住宅街 歴史的建造物は少なくない 大船観音 地産で野菜が安い 鯨の寿司(大船軒) 湘南のあめ横	交通の便が良い モノレールがメチャメチャ楽しい 畑 空家が多い 町が安全 物価が安い 鎌倉リビングラボ マルシェなどイベントが多い みんなでイベント(もちつき・いもに)など 伝統的行事は少ない	人口増 新住民多い 隣接地との出入りが多い・交流 仲が良い 活発で先進的な町内会(今泉台) 色々な仕事、世代が集まる 自由 団塊の世代が中心 人材豊富 お互いに干渉しないスタイル 少年野球の伝統があるチーム 鎌女 鎌芸

トコロ	カコ	ミライ
自然が豊か 山やハイキングコースに囲まれている 交通の便(移住増) モノレール・JRなど鉄道 北鎌倉は古都鎌倉の玄関口 大船駅がある 大船駅周辺の味わい 駅から遠い 六国見山 今泉不動にある滝 散在ヶ池 天国ハイキングコース 大船観音 買い物に便利な仲通り商店街 昔ながらの商店街 駅前商店 駅前が生活にとっても便利 湘南のあめ横 歴史遺産が多い 中央通り 鎌倉リビングラボ 鎌倉芸術劇場 信販団地 天台 鎌倉女子大 安い飲み屋 飯屋&のみ屋 市場っぽいお店 ビブリアの舞台 台峰 スウェーデン国王夫妻が視察 山ノ内の古都・鎌倉の道場と佇まい 鎌倉網コハン 駅前商店街がなかなか整備出来ない	自然 ぬま地 大船観音 通称「鎌倉湖」 松竹撮影所 撮影所があった(東洋のハリウッド、映画カルチャー) 40～50年前に開発が始まった新興住宅街 男性は東京で仕事・女性は専業主婦 都内に働きに行っている	自然いっぱい 豊かな自然が守られる 三菱電機情報総研 工場地帯 学生とテレワーカー みんなが自由に輪に入れる 高齢化伸展 介護施設 大船駅西口の開発 観音さまのフェスティバル・東南アジアのつながり 顧客増

3.1.4 大船地区の魅力

ワザ	クウキ	シゴト
獅子舞	町と隣接した豊かな緑	交通の便がいい
フリーランス	山の新鮮な風	三菱電機研究所
芸能	鎌倉鉄道	商店がワクワクする雰囲気
一芸に秀でた人が多い	車がすくない	商店街(大船)
人との関わり方	アジアな雰囲気の商店街	みんなが楽しそう
大船まつりが大人気	マインドフネス	自分のやりたいことやってる
考古・発掘業	高齢者の高齢者のためによる高齢者による	産業らしきものはない
横浜開港以来のハムづくり	閑静な環境	生活支援が必要とされている
鎌倉ハム製法		

3.1.5 玉縄地区の魅力

モノ	コト	ヒト
明治時代の鎌倉の入口としての大船駅	1950年代からのニュータウン計画で大変化	子どもから老人まで色々な多世代の人がバランス良く暮らしている
大船観音寺	柏尾川	新住民が多い(マンション住まい)
玉縄城跡	関谷川	芸術家・作家・モノ作りする人が多い
玉縄城址	玉縄祭	地元愛がある
龍寶寺	玉縄城址開発 まちづくり会議の活動	インクルーシブを目指す仲間
玉縄桜		NPOが多い
日比谷花壇大船フラワーセンター		脚本家北条秀治
コーナンモール		松竹の名優笠智衆
マンション群(地域内に14)		玉縄城を建築した北条早雲
24時間対応の湘南鎌倉総合病院		玉縄幼稚園(未来の人材育成)
関谷地区の鎌倉野菜		県立養護学校
鎌倉野菜		清泉女学院
あじの押し寿司		栄光学園

トコロ	カコ	ミライ
農地がある(関谷)	地形そのものが歴史・谷戸	湘南モノレール
文教地区	縄文後期、晩期の住居跡(関谷、山居、城廻)	田谷交差点・高速ジャンクション
玉縄城	鎌倉古道の要所	近い将来高速道インターが近くにできる
城まわり	玉縄城址	開発可能(IC)
大船観音	玉縄城跡	近未来の地域内交通システムは直近の課題
フラワーセンター	重要文化財旧石井家住宅	市域を越えた都市交流の発展に期待
チェーン店ではない新しい若い人のお店が増えている	龍寶寺	土地の活用
おいしいカフェ・レストラン	諏訪神社	手平交差点
ホームセンターが近い	玉縄城を中心とする農業中心の生活	大船西口の開発
ショッピングセンター(コーナン、ライフなど)	北条氏の足あと	人を育てる ミライにつながる
急性期・徳洲会鎌倉病院	古民家が残っている	農地(野菜)
湘南鎌倉病院	古い小学校	自給自足ができるまち
植木小の門が素晴らしい	映画カルチャー	玉縄城を中心とする新しい観光拠点
道が広いところが多い		
行政の機関が多い		
横浜新道に入りやすい		

ワザ	クウキ	シゴト
教育施設(高棟など)	自然	首都圏通勤者
鎌倉野菜	丘陵に広がるみどり豊かな住宅街	地域にかかわる職場が多い
	大船フラワーセンター	小企業・個人企業
	大船観音	主婦起業
	鎌倉大船モール	鎌倉野菜の農家さん
	すこやかセンター	鎌倉野菜
	富士山が見えるところが多い	ファミリーサポート
	生活しやすい	料理教室
	鎌倉時間 いつまでたっても	

3.2 2030年の鎌倉市の未来の物語

第2回市民対話にて、チームごとに作成した2030年の鎌倉市の未来の物語をまとめた。

3.2.1 経済Aチーム

モヤモヤしていた人が自分の得意を活かしてわくわく楽しく働けるまち

この物語に描かれている要素

経済1：地域経済を循環させる起業を促進する仕組みがあり、多様な人が活用している

- i. 企業・行政・地域の人が交流するためのコミュニティスペースがある
- iii. 多様な人の得意を活かしてビジネスができる仕組みができている

経済2：地域内で経済循環が生まれている

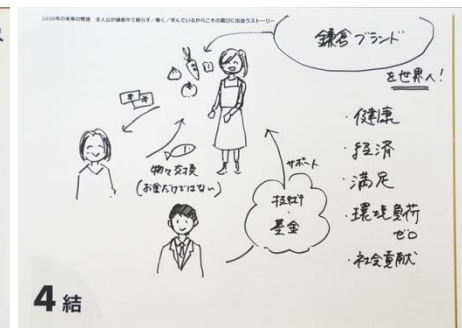
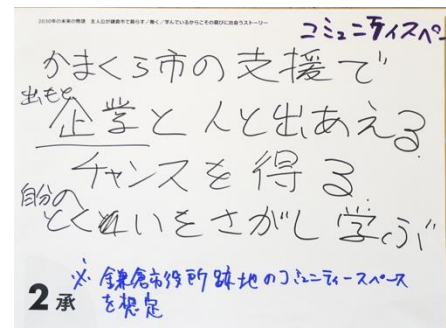
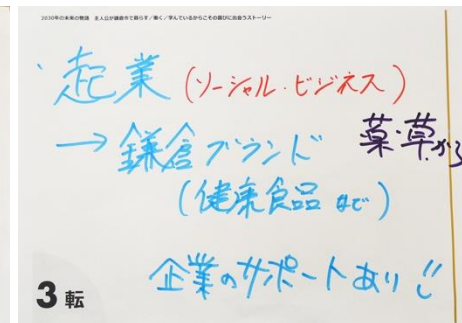
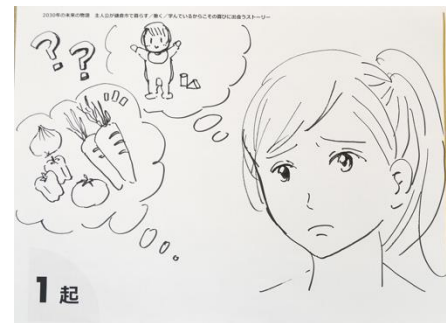
経済4：このような仕組みが鎌倉発のモデルとして世界に認知されている

泉たか子さんは2018年で28才です。子どもはいるけど、なにかモヤモヤを感じています。家庭菜園の趣味もあるけれど、これから何をしよう……。

鎌倉市は空き地にコミュニティスペースを作り、企業と人が交流してチャンスを広げたり、自分の得意を探して学べたりするようになりました。

たか子さんは、趣味を生かしてソーシャルビジネスで起業をしたいと思うようになりました。鎌倉ブランドを活かし、薬草や健康食品を作ってはどうかと考えています。企業もサポートしてくれます。

市の援助などをもとに起業して、鎌倉ブランドの健康食品を作ることに成功した、たか子さん。金銭的にも成功しましたが、ときには地元で物々交換もしています。企業ともやりとりが増え、技術や基金の支援も受けられるようになりました。地域での経済循環が生まれることを実感し、このモデルを世界にも展開させたいと野望が広がりました。すべての人の得意を生かし、ビジネスに生かせる仕組みができるだけでなく、他の地域でもこのような循環を生み出す機会を作るまちになりました。



3.2.2 経済Bチーム

打率2割の人が盗塁できるまち

この物語に描かれている要素

全体：「経済」「社会」「環境」の調和により、暮らす・働く・学ぶ・遊ぶが地域内で循環するまちになっている

経済1：地域経済を循環させる起業を促進する仕組みがあり、多様な人が活用している

iii. 多様な人の得意を活かしてビジネスができる仕組みができています

経済3：鎌倉の資源を促進するための他地域との交流が増えている

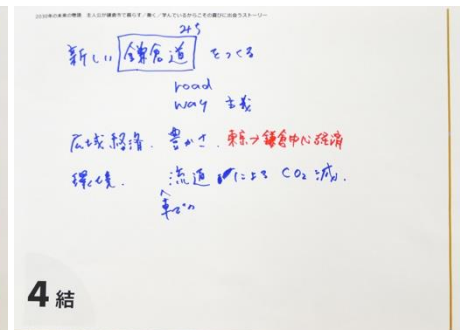
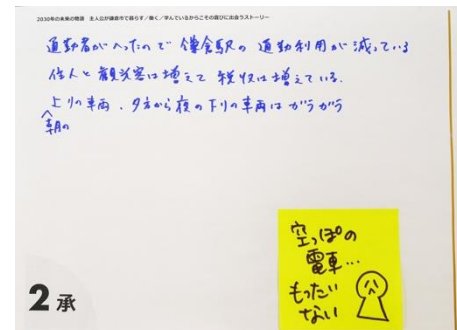
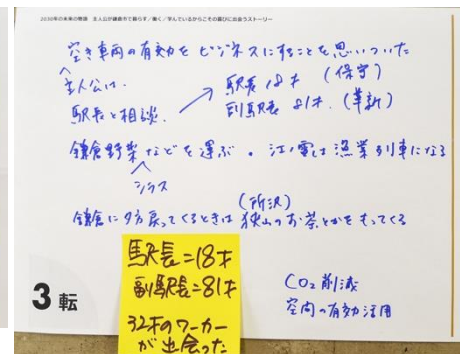
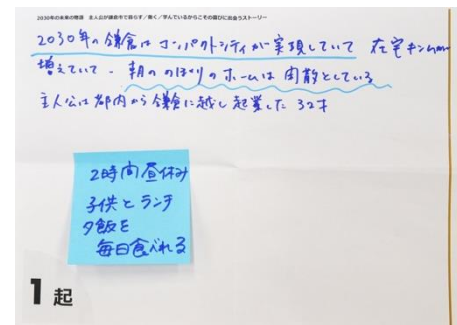
社会4：鎌倉市で働く人たちや起業家の横のつながりがご近所関係になっている

環境4：地産地消が環境保全につながっている

鎌倉みちさんは、32才でジェンダーフリー。鎌倉で起業して、ものづくりをしています。鎌倉は2030年、コンパクトシティを実現。昼休みを2時間取るなど、フレキシブルな働き方が普及し、家族と過ごす時間が増えました。在宅勤務が増え、通勤客が少ないため、朝の上りホームはガラガラ。駅の人々は悩んでいます。住人と観光客が増えているのでまちの税収は増えていますが、朝の上り車両、夕方から夜の下り車両はガラガラになり、空き車両がもったいないと思うようになりました。

そこでみちさんは、空き車両の有効活用ビジネスを思いつきます。朝は鎌倉野菜やシラスなどを別の地域に運び、鎌倉に夕方戻ってくる電車は、所沢・狭山のお茶などを帰るようになります。江ノ電は漁業列車に！

これが新しい「鎌倉道」となりました。大量生産・大量消費ではなく、新しいライフスタイルの実現をやりとりできる道です。脱炭素にも対応。鎌倉資本主義と呼ばれ、地産地消が増え、人の交流が増え、お金以外の流通が増えました。常にホームランを狙ってがむしゃらに働くのではなく、打率2割の人がちょっとしたことで盗塁できる……。そんな肩の力の抜けたまちになりました。



3.2.3 経済Cチーム

魚屋の後継が王子になれるまち

この物語に描かれている要素

全体：幸福度世界一のまちになっている

経済1：地域経済を循環させる起業を促進する仕組みがあり、多様な人が活用している

ii. 地域経済を循環させるための取り組みが多数なされている

経済3：鎌倉の資源を促進するための他地域との交流が増えている

社会1：地域通貨の活用など、お互いさまの関係で助け合いが促進されている

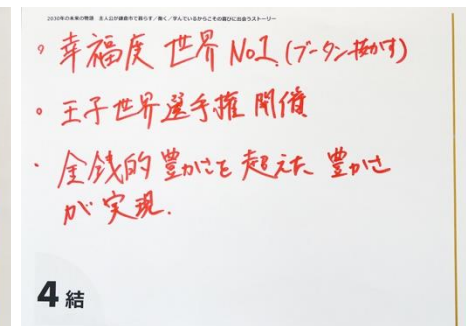
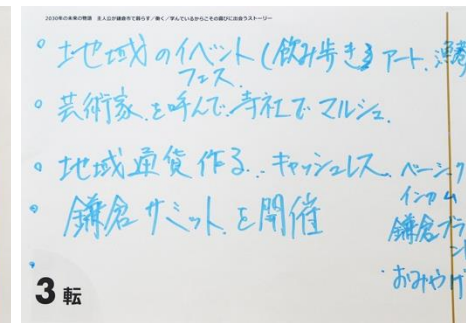
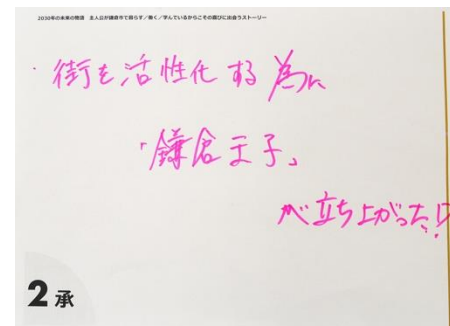
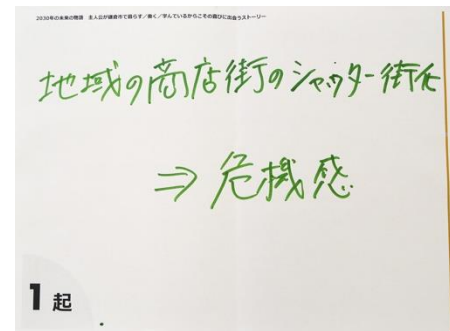
ii. 助け合いを促進する地域通貨が流通している

これはノンフィクションのストーリーです。地元の商店街のシャッター街化に危機感を持った主人公。

まちを活性化するために「鎌倉王子」として、立ち上がりました！

王子は、**地域イベント**、**飲み歩き**、**アートフェス**、**漁港活用**、**芸術家**を呼んで寺社でマルシェなど、様々な取り組みを実施。また、**地域通貨**によって、**キャッシュレス**でお金なくても色々と循環する仕組みをつくります。ベーシックインカムを実現させるための取り組みや、鎌倉ブランドのお土産もつくりました。そして、遂には「**鎌倉サミット**」が開催されることに。

鎌倉は幸福度世界ナンバー1のまちになりました。鎌倉では、世界中の王子が集まる、王子世界選手権が開催されます。世界中からやって来た王子は、鎌倉にたくさんのお金を落とします。また、**多様な交流が生まれ**、**金銭を超えた豊かさ**も実現。この王子の物語は、テレビドラマ化。金銭的な豊かさを超えた「**豊かさ**」を目指す鎌倉人として取り上げられました。



3.2.4 社会Aチーム

かまくらっ子が活躍できるまち

この物語に描かれている要素

社会1：地域通貨の活用など、お互いさまの関係で助け合いが促進されている

- i. お互い様という関係で地域で助け合っている
- ii. 助け合いを促進する地域通貨が流通している

社会2：多世代・多文化共生の関係で、差別もなく交流が活発になっている

- iii. 豊かな自然の中で世代を超えて遊び交流する機会がある

社会3：鎌倉内にある人材や物資や自然などの資源に気づき、活用しあえている

- iii. 多世代の人材資源が活かされている

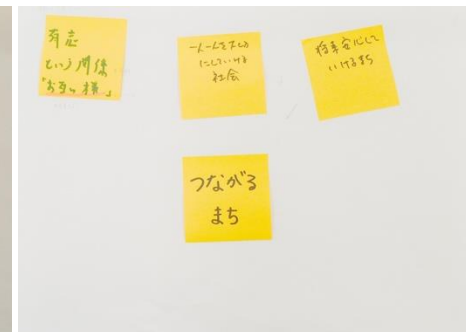
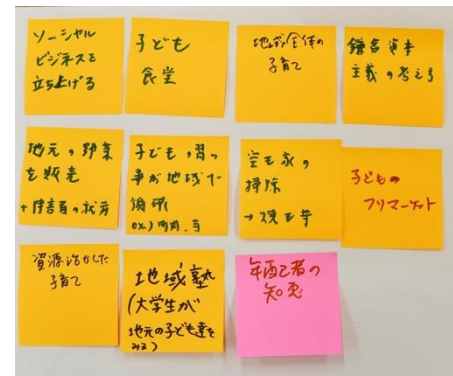
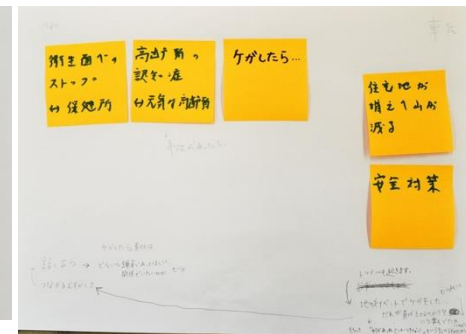
鎌倉の豊かな自然の中で育った橋本玄（はるか）くんは、ゆくゆくは結婚して、子どもも多いのがよいと思っています。また、仕事はソーシャルビジネスを立ち上げたいと思っています。

子どもの頃の玄くんは、**地域の人たちと餅つきや木登り、まき割りなどをして、鎌倉の自然の中を自由に駆けまわっていました。**

2030年、鎌倉資本主義の考えのもと**地域通貨が流通しています。地元の野菜が大切にされ、フリーマーケットが開かれ、障がい者の雇用も促進されています。多世代の人材資源を活かした地域社会ができあがっています。**

でも、トラブルも起きがちです。ケガをしたときに誰が責任とるのかなど、曖昧なことによる問題が起き、“地域の活動をやめたら？”という声も出てきてしまいました。

そんな時期を経て、鎌倉の人たちの間には「有志」という関係が広がっていきます。**お互い様という考えが育まれていくのでした。**



3.2.5 社会Bチーム

なんとなく暮らしている主婦が鎌倉でつながる幸せを実感できるまち

この物語に描かれている要素

社会3：鎌倉内にある人材や物資や自然などの資源に気づき、活用しあえている

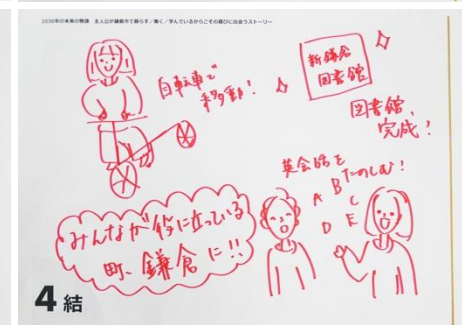
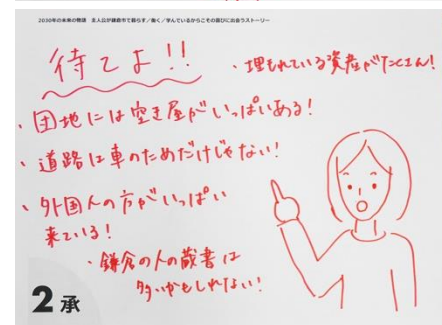
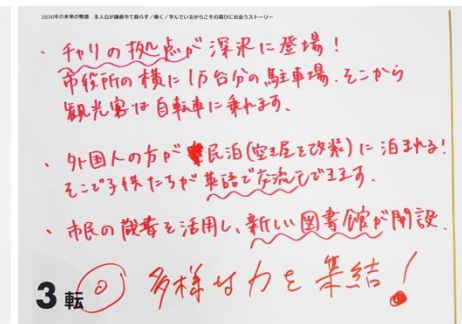
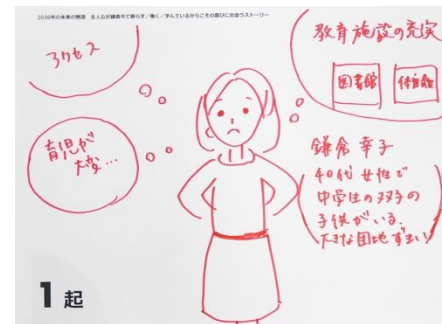
- i. 鎌倉市にある多様な資源に気づきあえる
- ii. 鎌倉市にある多様な資源を活用しあえている

主人公の名前は鎌倉幸子さん。40代の女性です。彼女は子育てに忙しい毎日ですが、日々の暮らしにそれほど不満があるわけではありません。

ただ、あるとき、“待てよ？”と立ち止まりました。鎌倉の団地にたくさん空き家があります。道路の活用もっと考えられそう。鎌倉に住んでいる人の蔵書の数も多そうです。埋もれている資産がたくさんあることに気づきます。

深沢にチャリの拠点ができました。ここから自転車で鎌倉を楽しむ人たちが増えるようになります。また、民泊をした外国人と子どもたちが英語で交流したりするようにもなりました。

誰もが役に立っていると感じられるまち、鎌倉。移動は自転車でどこへでも行くことができます。空き家を活用した図書館ができたりもしています。



3.2.6 社会Cチーム

一教員でもコミュニティスクールができるまち

この物語に描かれている要素

社会1：地域通貨の活用など、お互いさまの関係で助け合いが促進されている

ii. 助け合いを促進する地域通貨が流通している

社会2：多世代・多文化共生の関係で、差別もなく交流が活発になっている

iii. 豊かな自然の中で世代を超えて遊び交流する機会がある

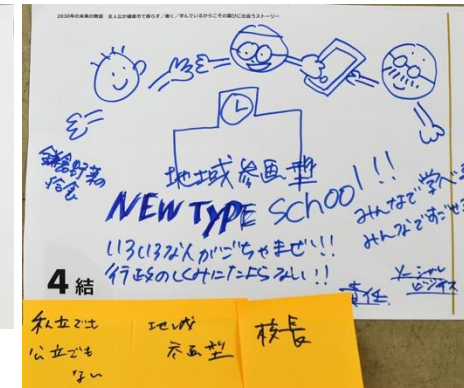
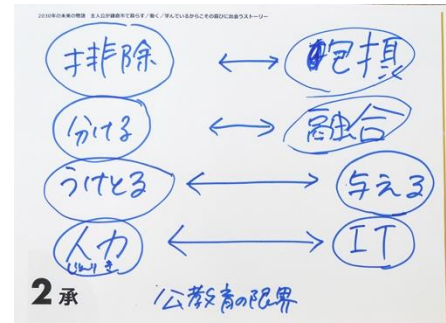
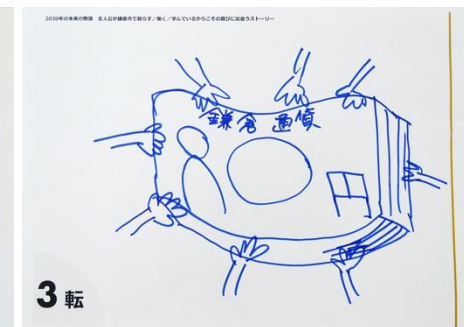
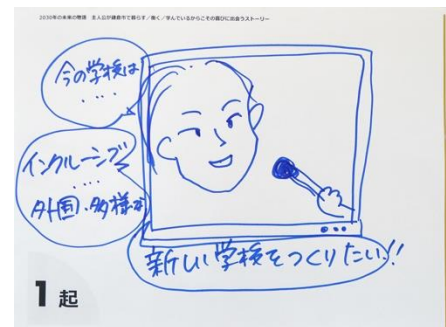
社会5：地域参画型の学校教育が実現できている

綾瀬はるかさん、35才です。公立中学校で先生をしています、職場はブラックな環境です。ある日、街頭インタビューで不満をぶちまけたところ、それが全国放送されました。

はるかは本気で「変えたい」と思いました。「排除」から「包摂」へ、「分け隔てる」から「融合」へ、「人力」から「IT」の活用へ。そして「受け取る」だけではない「与える」幸せへ……。

いくら思ったところで先立つものがないと何もできません。そこでクラウドファンディングを超えた新しい集金方法を模索します。その結果、資金だけでなく想いも集まりました。

それを元手に、私立でもなく、公立でもなく、行政の仕組みでもない、地域参画型の新しい学校ができました。



3.2.7 環境Aチーム

障がいを持つ人も高齢者も子どももみんなが学び楽しく自分を活かせるまち

この物語に描かれている要素

社会3：鎌倉内にある人材や物資や自然などの資源に気づき、活用しあえている

iii. 多世代の人材資源が活かされている

環境1：障害等の有無に関係なく遊べる自然環境がある

環境2：鎌倉市にある自然や文化について学び、活動する機会にあふれている

主人公は稲村花ちゃん、12才です。おじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さんと一緒に暮らしています。仲良しの友達は、自閉症スペクトラムの太郎くんと、代官山に住む鎌倉大好きな太陽くんです。

花ちゃんは、自閉症の太郎くんと安心して遊べる緑の公園が、鎌倉には少ないことを不満に感じています。そこで花ちゃんは、日頃から歩きまわって、地域の緑マップをつくり、緑に関わる遊びを研究しました。

ある日、太郎君は街中で迷子になり、ケガをしてしまいます。救急車を呼んでも、すぐには来てくれませんでした。このことから、道路の渋滞が問題であることがわかりました。

学び続けた花ちゃんは、大人も巻き込んだ活動をスタート。市民以外の自動車を流入させないルールをつくるきっかけとなります。これが排ガスの少ない鎌倉を実現することになりました。



3.2.8 環境Bチーム

外国人が一住民として地元で活躍できるまち

この物語に描かれている要素

経済1：地域経済を循環させる起業を促進する仕組みがあり、多様な人が活用している

iii. 多様な人の得意を活かしてビジネスができる仕組みができている

社会2：多世代・多文化共生の関係で、差別もなく交流が活発になっている

i. 人種などの差別がなく住民として受け入れられる

ii. 異文化交流の機会がある

環境2：鎌倉市にある自然や文化について学び、活動する機会にあふれている

環境3：異文化について学び、交流する機会がある

主人公は中国人の王さん、60才。王さんは長年勤めた電機メーカーで定年を迎えました。バブル期にはIT技術系SEとして、中国人差別を受けながらも実績を残し、工場長まで登用されました。いまは環境問題に関心があり、環境ビジネスでシニア創業を準備中。地域にも積極的に関わっています。

王さんは友人から「鎌倉に住みたい」と相談を受けて、今泉台の団地を紹介します。ところが住民協定に引っかかり、外国人は住めないと言われました。仕事で差別を受けたこともあって、思わず団地の町内会役員と口論に発展。それがきっかけで、仲がよかった地元の日本人とも気まずい関係になり……。

王さんと友人のふたりで、鎌倉のお祭りに積極的に参加。そこから、王さんの友人が日本・中国どちらの歴史や文化についても知識のある人だと、地元の人に認識されるようになります。地域の信頼を得る友人を見て、王さんは質の良い外国人を地域に住めるようにするビジネスを思いつきました。

王さんの友人は、提供された地域の空き家を事務所としました。そして、鎌倉にやってくる外国人に対して環境教育を行ったり、「寺子屋」として鎌倉の文化を知ってもらったり、反対に中国の文化を学んでもらったりしました。それはやがて日中、その他の国の文化交流の場となりました。地域の住民に受け入れられた王さんの友人、王さんの友人を紹介した王さん、みんながハッピーになりました。

王さんは長年勤めた某電機の電機メーカーで定年を迎えた。
バブル期に当時最先端のIT技術のシステムエンジニアとして、中国人差別を受けながらも実力を認め、工場長まで登用された。定年で退職。
環境問題にも関心があり、定年後環境ビジネスでシニア創業を準備中。地域にも積極的に関わっている。

王さんの友人が鎌倉に住みたいと相談を受け、今泉台の団地を紹介する。外国人にもなっていないよ契約という時に、住民協定に引っかかり、外国人が住めないと言われ、仕事で役員から差別も受けたばかりなこともあって、人柄に似合わないと思わず団地の町内会役員と口論になった。そのきっかけで、仲のよかった王さんの地元の日本人とも気まずい関係になった……

地元のお祭りでは王さんが積極的に参加したことで、王さんが日本・中国どちらの歴史や文化にも知識のある人だということが地元の人に認識されるようになった。
地域の信頼を得た友人を見て、王さんは質の良い外国人を地域に住めるようにするビジネスを思いつく。

王さんの友人は、地域の空き家を事務所とし、入ってくる外国人に対して、環境教育を行ったり、「寺子屋」として鎌倉の文化を知ってもらったり、中国の文化を知ってもらったり、日本・中国・その他の文化の交流の場となる。

地域の住民に受け入れられた王さんの友人、王さんの友人を紹介した王さん、皆がハッピーになる！
SDGs 5 10 11 16 17

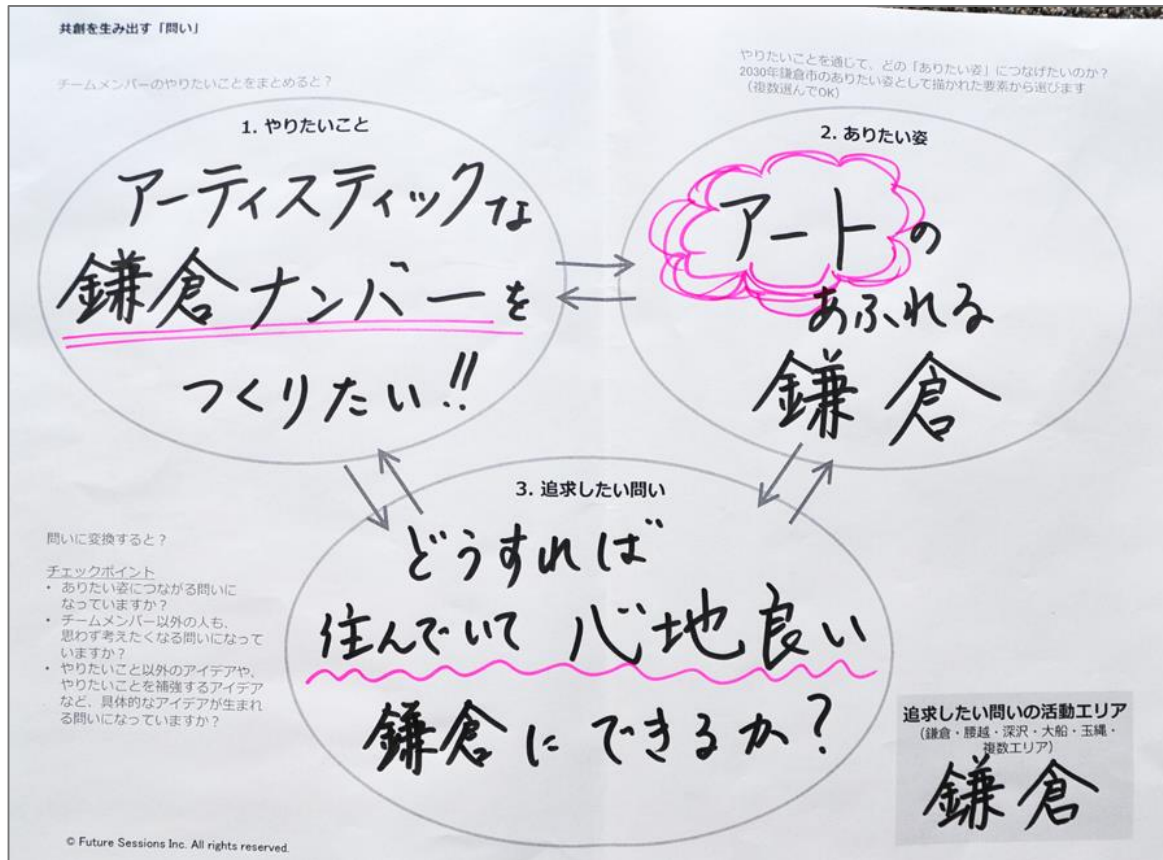
3.3 共創を生み出す問い

第3回市民対話にて、チームごとに作成した共創を生み出す問いをまとめた。

3.3.1 どうすれば、住んでいて心地よい鎌倉にできるだろうか？

鎌倉

どうすれば、住んでいて心地よい鎌倉にできるだろうか？



1. やりたいこと

- ・ アーティスチックな鎌倉ナンバーを作りたい

2. ありたい姿

- ・ アートあふれる鎌倉

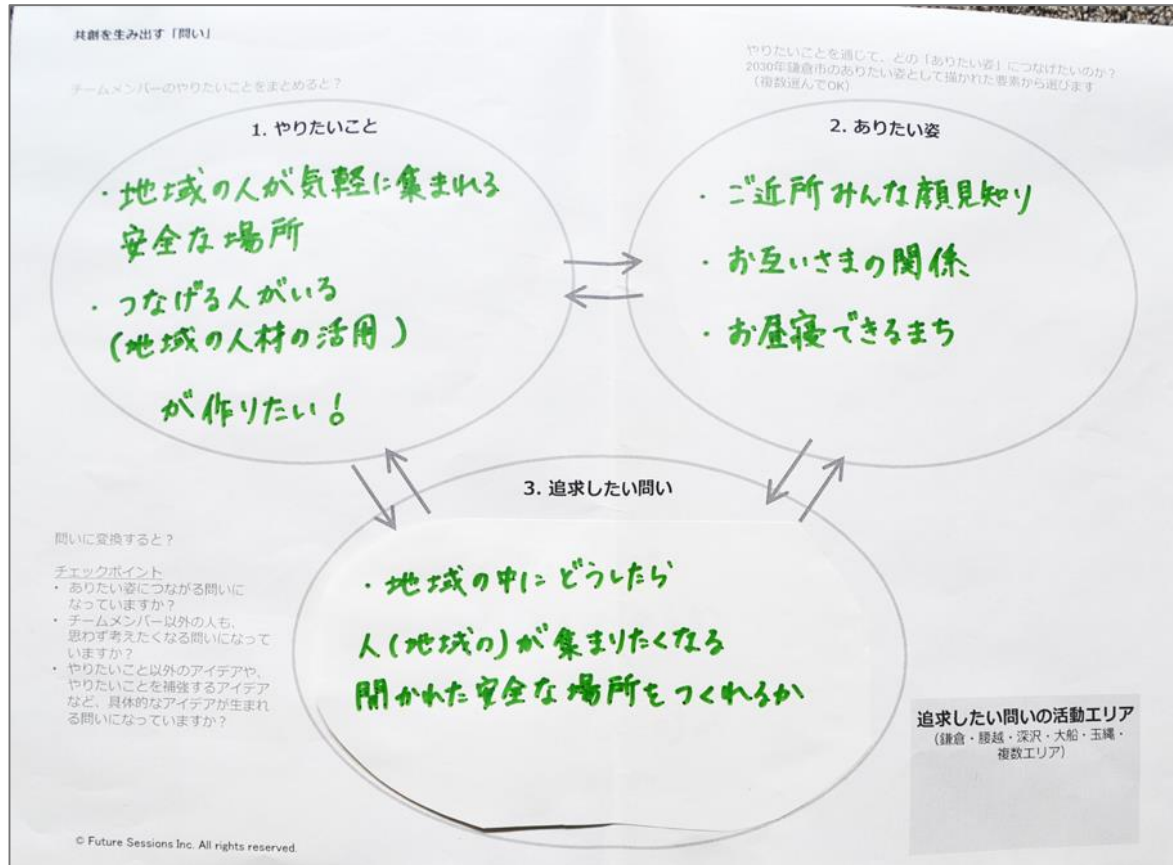
3. 追求したい問い

- ・ どうすれば、住んでいて心地よい鎌倉にできるか？

3.3.2 どうすれば、地域の中に人が集まりたくなる 開かれた安全な場所を作れるだろうか？

鎌倉

どうすれば、地域の中に人が集まりたくなる 開かれた安全な場所を作れるだろうか？



1. やりたいこと

- ・ 地域の人々が気軽に集まれる安全な場所
- ・ つなげる人がいる（地域の人材の活用）

2. ありたい姿

- ・ ご近所みんな顔見知り
- ・ お互いさまの関係
- ・ お昼寝できるまち

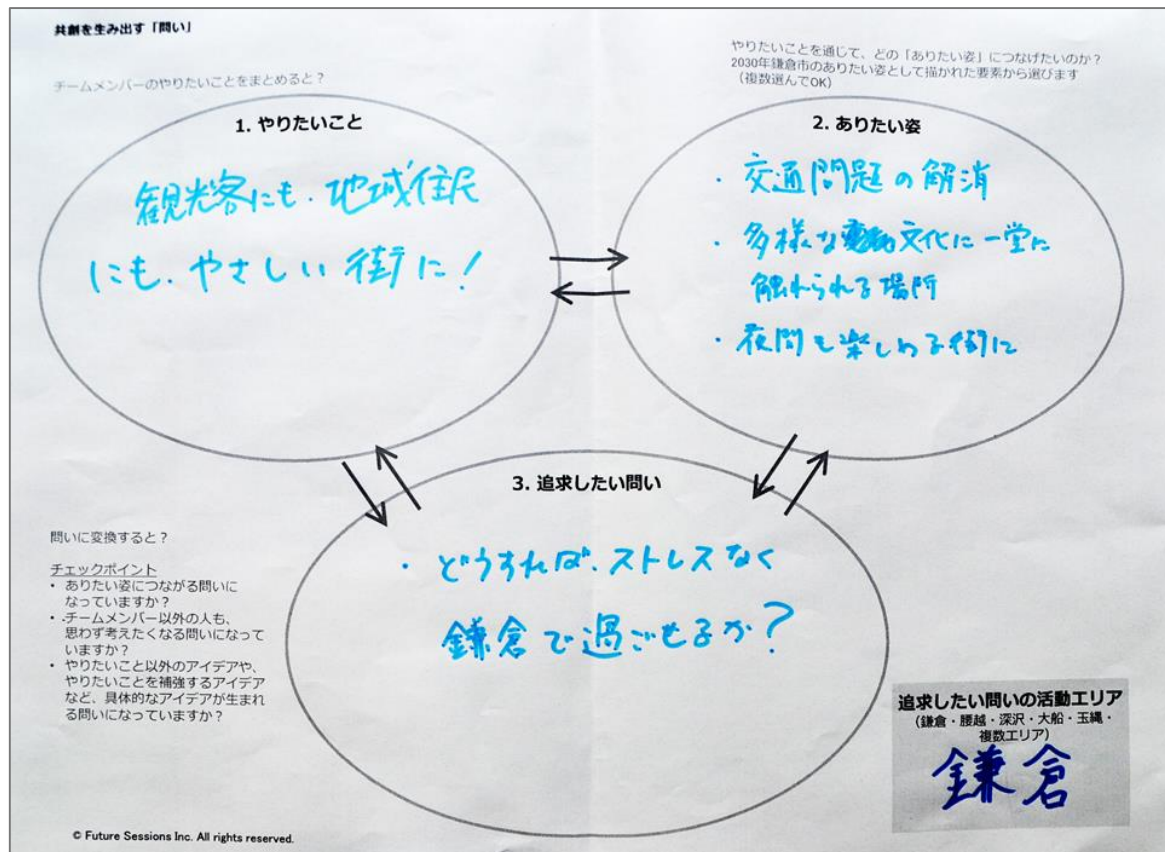
3. 追求したい問い

- ・ どうすれば、地域の中に人が集まりたくなる開かれた安全な場所を作れるだろうか？

3.3.3 どうすれば、ストレスなく鎌倉で過ごせるだろうか？

鎌倉

どうすれば、ストレスなく鎌倉で過ごせるだろうか？



1. やりたいこと

- ・ 観光客にも、地域住民にも、やさしいまちに！

2. ありたい姿

- ・ 交通問題の解消
- ・ 多様な文化に一堂に触れられる場所
- ・ 夜間も楽しめるまちに

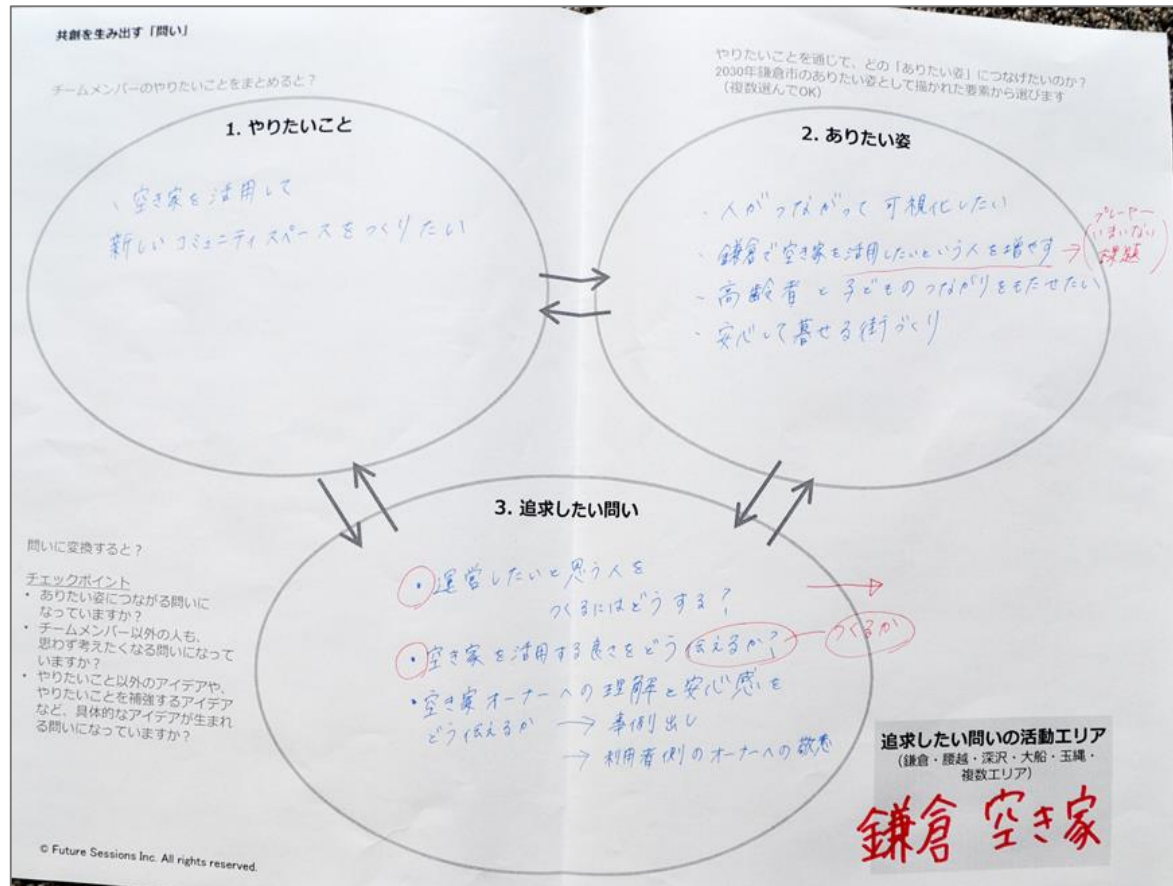
3. 追求したい問い

- ・ どうすれば、ストレスなく鎌倉で過ごせるだろうか？

3.3.4 どうすれば、空き家を使って事業を運営したい人が 生み出せるだろうか？

鎌倉

どうすれば、空き家を使って事業を運営したい人が 生み出せるだろうか？



1. やりたいこと

- ・ 空き家を活用して新しいコミュニティスペースを作りたい

2. ありたい姿

- ・ 人のつながりを可視化したい
- ・ 鎌倉で空き家を活用したい人を増やす
- ・ 高齢者と子どものつながりを作りたい
- ・ 安心して暮らせるまちづくり

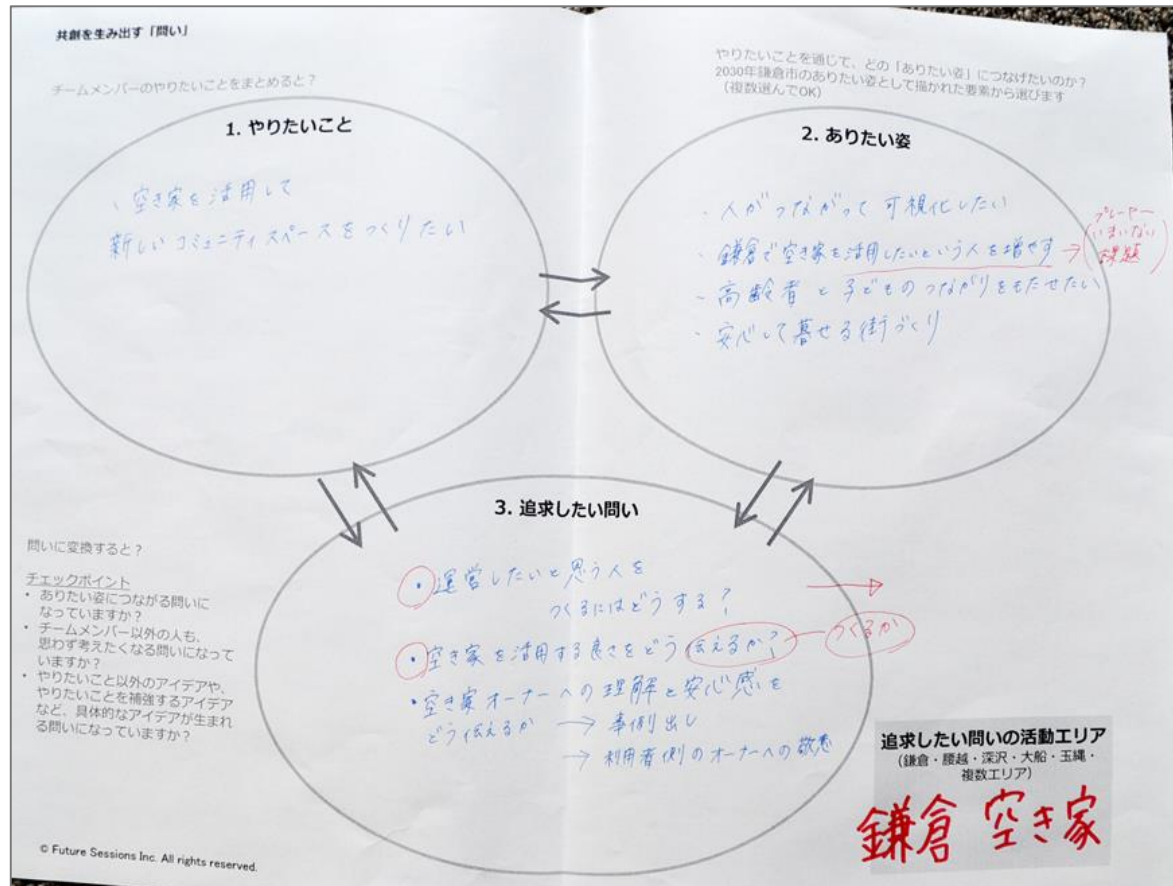
3. 追求したい問い

- ・ どうすれば、空き家を使って事業を運営したい人が生み出せるだろうか？

3.3.5 どうすれば、空き家オーナーに空き家活用の良さを伝えられるだろうか？

鎌倉

どうすれば、空き家オーナーに空き家活用の良さを伝えられるだろうか？



1. やりたいこと

- 空き家を活用して新しいコミュニティスペースを作りたい

2. ありたい姿

- 人のつながりを可視化したい
- 鎌倉で空き家を活用したい人を増やす
- 高齢者と子どものつながりを作りたい
- 安心して暮らせるまちづくり

3. 追求したい問い

- どうすれば、空き家オーナーに空き家活用の良さを伝えられるだろうか？

腰越

腰越



腰越

- # 腰越

腰越

- # 腰越

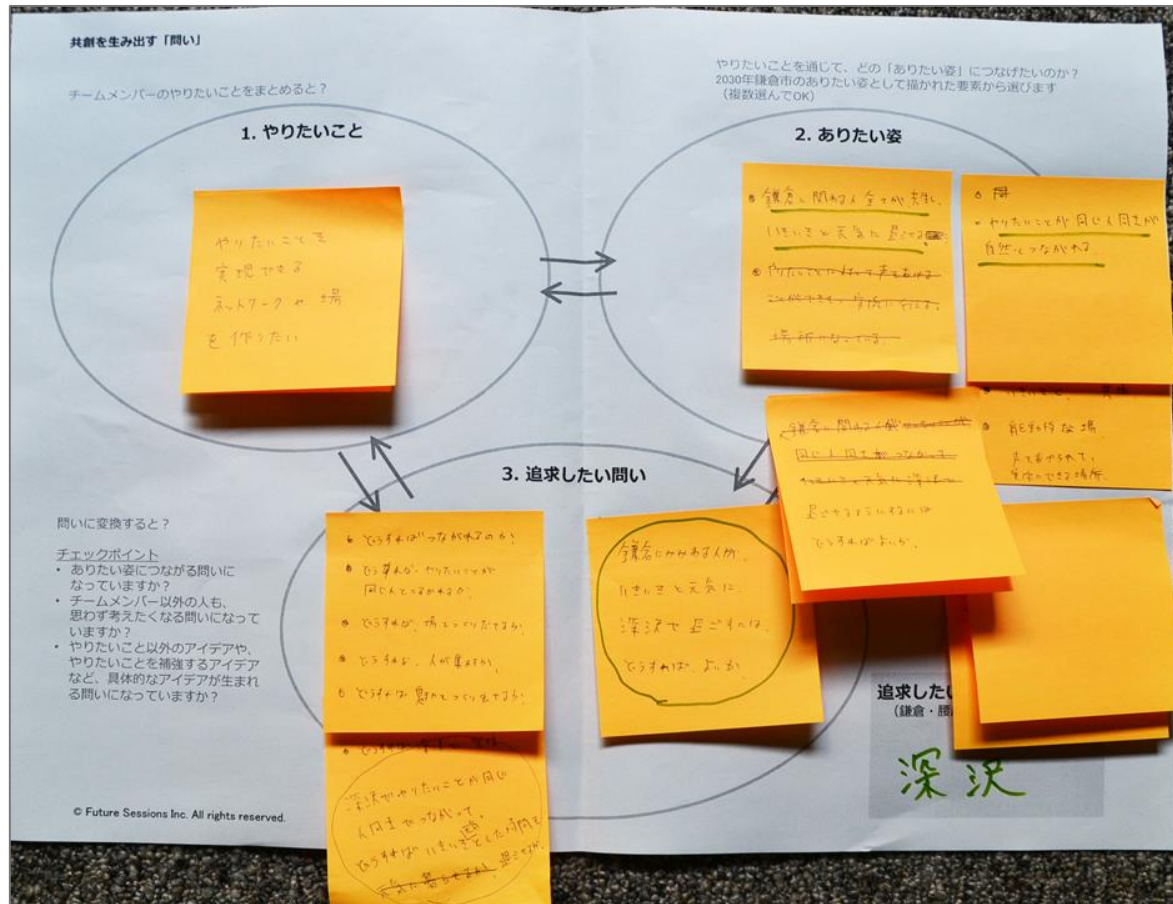
腰越

- # 腰越

3.3.7 どうすれば、鎌倉に関わる人が生き生きと元気に深沢で過ごせるだろうか？

深沢

どうすれば、鎌倉に関わる人が生き生きと元気に 深沢で過ごせるだろうか？



1. やりたいこと

- やりたいことを実現できるネットワークと場を作りたい

2. ありたい姿

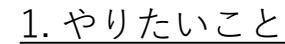
- 鎌倉に関わる人全てが共生し、生き生きと元気に過ごせる
- やりたいことが同じ人同士が自然とつながる

3. 追求したい問い

- どうすれば、鎌倉に関わる人が生き生きと元気に深沢で過ごせるだろうか？

大船

学校教育プログラムができるだろうか？



- ## 2. ありたい姿

- ### 3. 追求したい問い

- 49

大船

大船



1. やりたいこと

- 地域食堂で多世代交流
- フリーランスギルド（働き方を守る）
- ITの力で社会を発展させたい
- キャッシュレスで生活できる地域
- 情報を集め発信する。市民SNS

2. ありがたい姿

- 多様な働き方ができるまちに

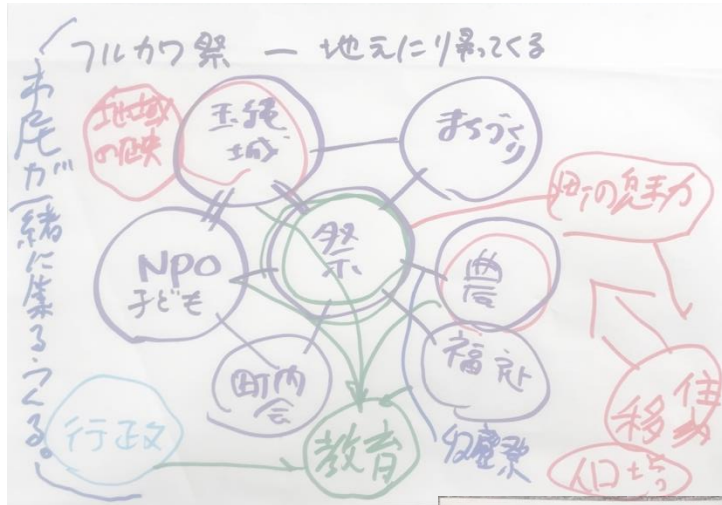
3. 追求したい問い

- どうすれば、フリーランスの若者や外国人などが簡単に家を借りられるだろうか？

3.3.10 どうすれば、玉縄に世代を超えて地元住民と外の人が集まる場を作れるだろうか？

玉縄

どうすれば、玉縄に世代を超えて地元住民と外の人が集まる場を作れるだろうか？



3. 追求したい問い

- どうすれば、玉縄に世代を超えて地元住民と外の人が集まる場を作れるだろうか？

玉縄地区は 鎌倉市内唯一の
農地資源が豊富。

農家は後継者がいないから

ファーマサポートクラブ

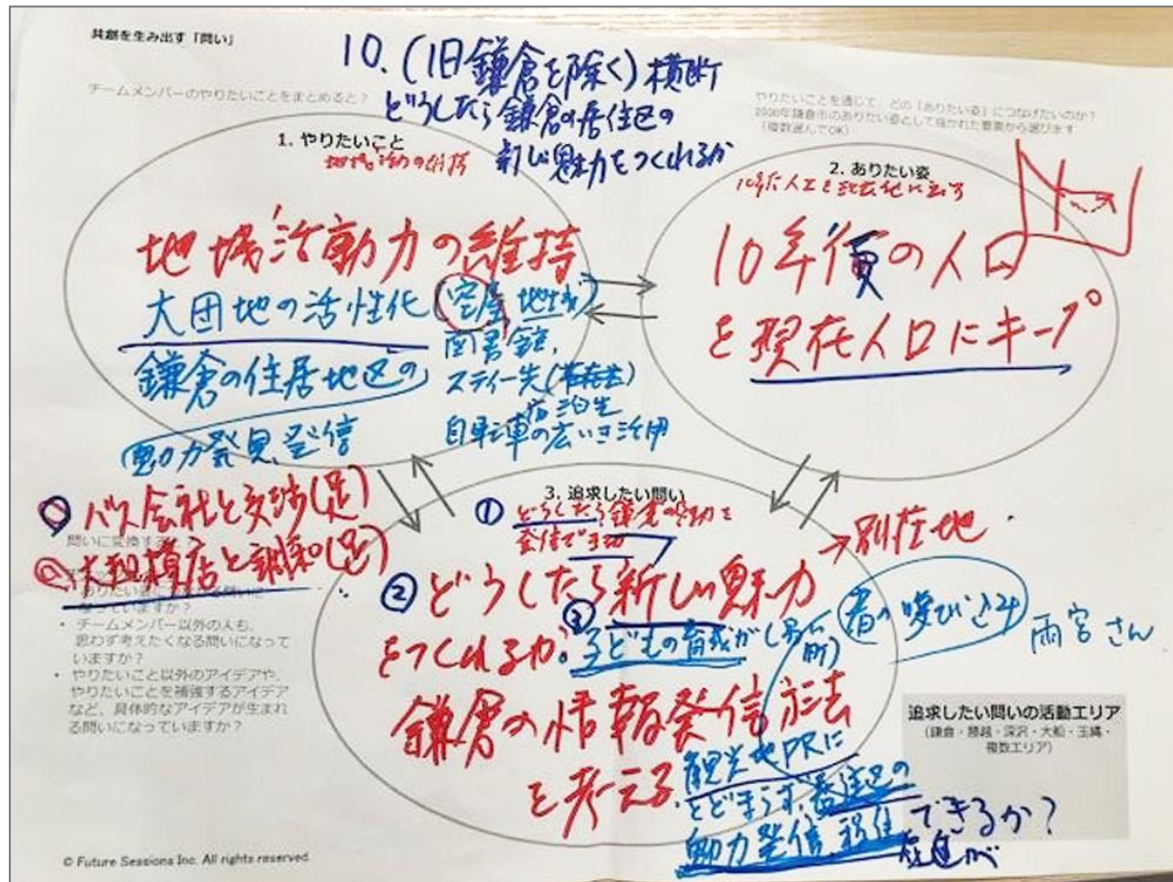
をつくりたい。

障害者
国、213人
“共生”

3.3.11 どうすれば、鎌倉の居住区の新しい魅力を作り、発信できるだろうか？

横断

どうすれば、鎌倉の居住区の新しい魅力を作り、発信できるだろうか？



1. やりたいこと

- 地域活動力の維持
- 大団地の活性化
- 鎌倉居住地区の魅力発見、発信

2. ありたい姿

- 10年後の人口を現在と同数にキープする

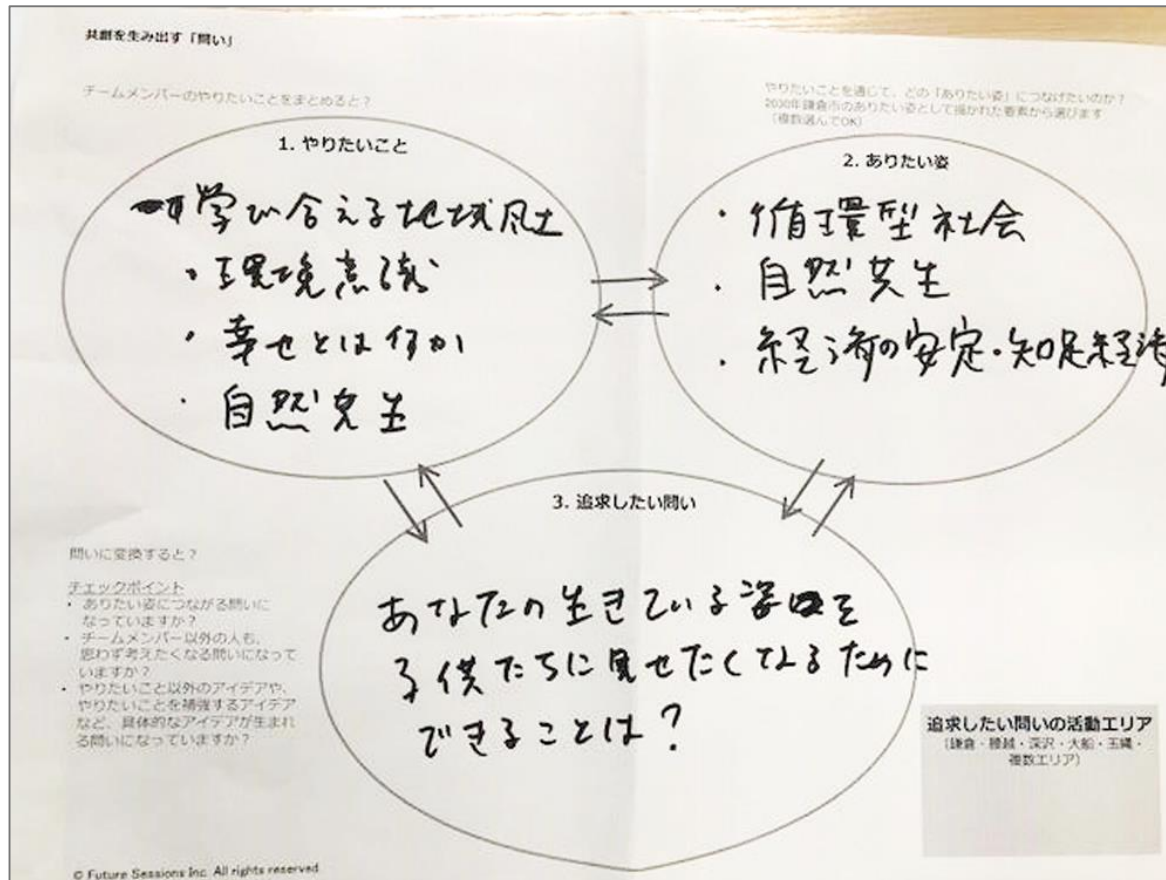
3. 追求したい問い

- どうすれば、鎌倉の居住区の新しい魅力を作り、発信できるだろうか？

3.3.12 どうすれば、あなた（大人）の生きている姿を子どもたちに見せたいかなるだろうか？

横断

どうすれば、あなた（大人）の生きている姿を子どもたちに見せたいかなるだろうか？



1. やりたいこと

- ・ 学びあえる地域風土
- ・ 環境意識
- ・ 幸せとは何か
- ・ 自然共生

2. ありたい姿

- ・ 循環型社会
- ・ 自然共生
- ・ 経済の安定・知足経済

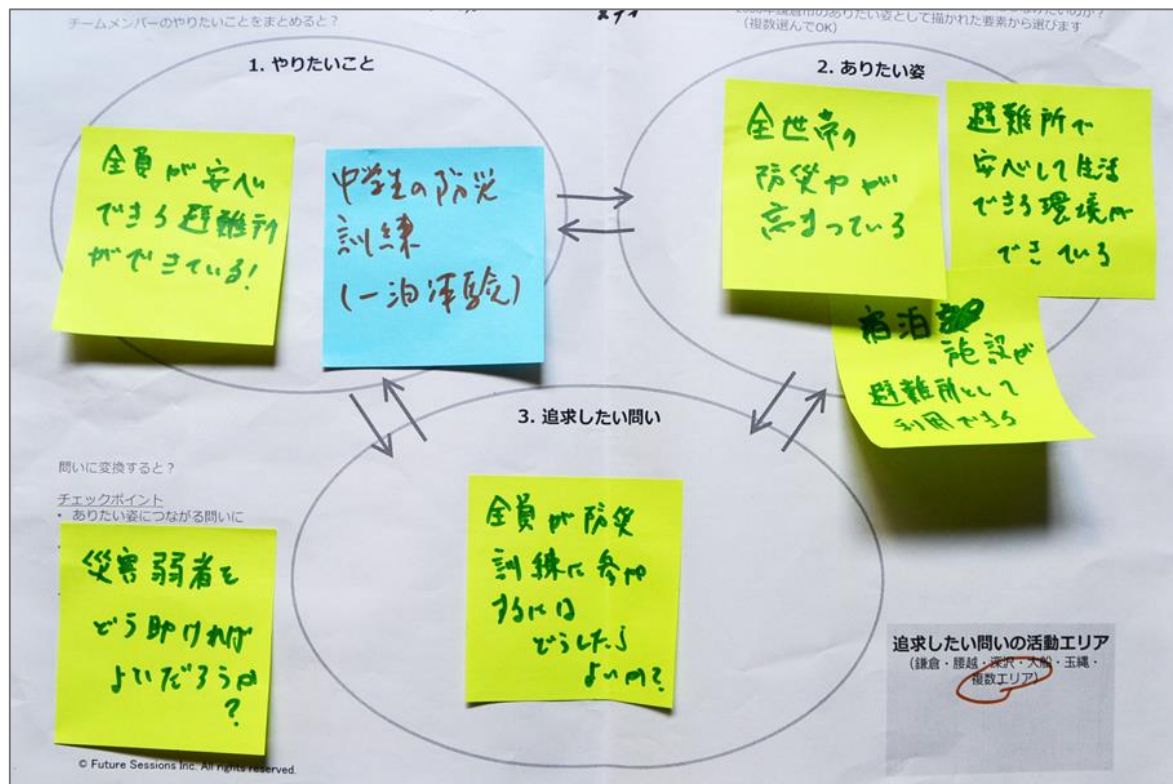
3. 追求したい問い

- ・ どうすれば、あなた（大人）の生きている姿を子どもたちに見せたいかなるだろうか？

3.3.13 どうすれば、鎌倉市民全員が防災訓練に参加するようになるだろうか？

横断

どうすれば、鎌倉市民全員が防災訓練に参加するようになるだろうか？



1. やりたいこと

- 全員が安心できる避難所
- 中学生の防災訓練（一泊体験）

2. ありたい姿

- 全世帯の防災力が高まっている
- 避難所で安心して生活できる環境ができています
- 宿泊施設が避難所として利用できる

3. 追求したい問い

- どうすれば、鎌倉市民全員が防災訓練に参加するようになるだろうか？

3.4 プロジェクトアイデア

第4回市民対話にて、チームごとに作成したプロジェクトアイデアをまとめた。

3.4.1 駄菓子屋deつながろう

共創を生み出す問い

どうすれば、地域の中に人が集まりたくなる開かれた安全な場所を作れるだろうか？

プロジェクトアイデア要約

フリースペースを提供したい人と使いたい人をスマホアプリでつなげ、市民の「やりたい」を身近な開かれた場所では実現すると同時に、地域の人々のつながりをつくる

活動エリア

- 鎌倉

プロジェクト概要

いつ？

どこで？

- フリースペース（駄菓子屋など）

だれと？

- スペースを使いたい人
- スペースを提供したい人

何をしようとしているのか？

- スペースを使いたい人やスペースを提供したい人がスマホアプリで会員登録
- スペースを使って、朝市やコンサート、寺子屋、映画上映会などを実施
- 会場となるフリースペースは誰でも開かれた場所で、コーディネーターがいる（駄菓子屋のような場所）

目的

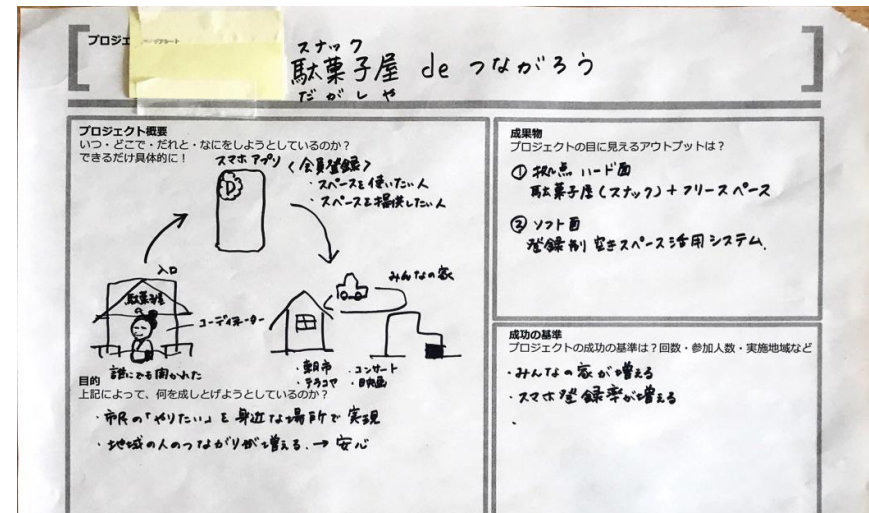
- 市民の「やりたい」を身近な場所で実現する
- 地域の人々のつながりが増え、安心な地域にする

成果物

- ハード面：駄菓子屋（スナック）やフリースペース
- ソフト面：登録制空きスペース活用システム

成功の基準

- 会員システムの登録率が増える
- みんなの家が増える（システムが頻繁に利用される）



3.4.2 空き家めぐりツアー

共創を生み出す問い

どうすれば、空き家オーナーに空き家活用の良さを伝えられるだろうか？

プロジェクトアイデア要約

空き家オーナーと空き家を使いたい人をマッチングするツアーを定期開催し、鎌倉市内の空き家の利活用を促進する

活動エリア

- ・ 鎌倉市内全域

プロジェクト概要

いつ？

どこで？

- ・ 鎌倉市内
- ・ インターネット上

だれと？

- ・ 空き家オーナー（貸しても良いと思っている人）
- ・ 空き家を使いたい人

何をしようとしているのか？

- ・ インターネット上で空き家情報や空き家利活用事例を集める
- ・ 空き家利活用事例物件や、貸しても良い空き家物件を見学する
- ・ ワークショップによるマッチングを行う

目的

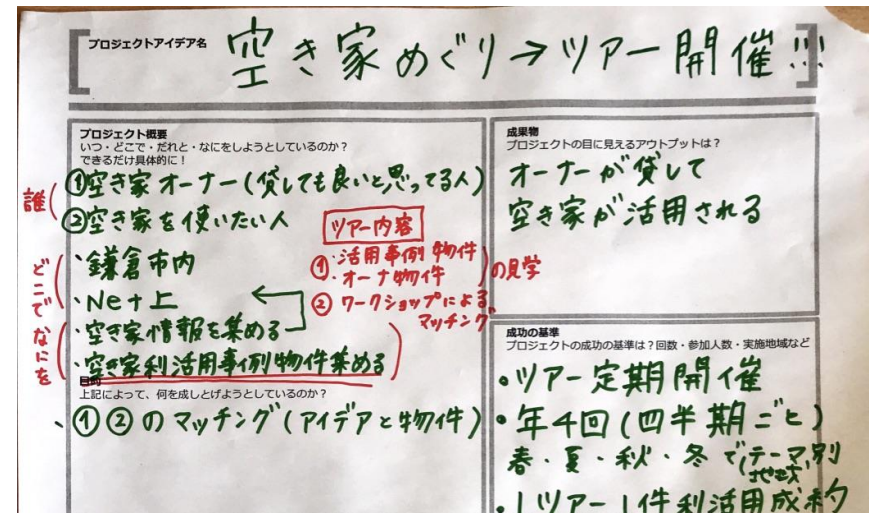
- ・ 空き家オーナー（空き家）と空き家を使いたい人（アイデア）のマッチング

成果物

- ・ オーナーが貸して空き家が活用される

成功の基準

- ・ ツアーの定期開催（四半期ごとに年4回、テーマ・地域別）
- ・ 1ツアー1件の利活用成約



3.4.3 空き家でアーティスト・イン・レジデンス

共創を生み出す問い

どうすれば、空き家オーナーに空き家活用の良さを伝えられるだろうか？

プロジェクトアイデア要約

世界中のアーティストに鎌倉市内の空き家を活用してもらい、空き家から新しい鎌倉の文化を発信し、アートのあふれるまちにする

活動エリア

- ・ 鎌倉市内

プロジェクト概要

いつ？

どこで？

だれと？

- ・ 世界中のアーティスト
- ・ 空き家オーナー

何をしようとしているのか？

- ・ アーティストに空き家を活用してもらう
- ・ 鎌倉をアートのあふれる地域にしていく

目的

- ・ 空き家から新しい文化を発信する

成果物

- ・ 滞在したアーティストがアートフェスティバルなどで世界中に制作物を公開

成功の基準

- ・ 空き家が減る
- ・ 年1回アートフェスティバル開催
- ・ 優秀なアーティストが集まるまちになる

プロジェクトアイデア名	
空き家でアーティスト・イン・レジデンス	
プロジェクト概要 いつ・どこで・誰と・何をしようとしているのか？ できるだけ具体的に！	成果物 プロジェクトの目に見えるアウトプットは？
世界中のアーティストに 空き家を活用してもらい アートのあふれる地域に していく 空き家から新しい文化を発信	アートフェスティバル などで世界中に 制作物を公開
目的 上記によって、何を成しとげようとしているのか？	成功の基準 プロジェクトの成功の基準は？回数・参加人数・実施地域など
	空き家が減る 優秀なアーティストが集まる街 年1回アートフェスティバルを

3.4.4 もったいない食堂

共創を生み出す問い

どうすれば、子ども・地域住民・観光客・移住者・行政を含めて多世代の交流の場を作れるだろうか？

プロジェクトアイデア要約

食品ロスの課題解決を目指す食堂を空き家活用や居抜きでつくり、食や本の読み聞かせなどを通じて世代間交流を行う

活動エリア

- ・ 腰越

プロジェクト概要

いつ？

どこで？

- ・ 空き家や居抜きの居酒屋

だれと？

- ・ 調理師
- ・ 地元のおばあちゃん
- ・ 腰越の地域住民
- ・ 腰越に訪れる観光客

何をしようとしているのか？

- ・ 1食100円の食品ロス食堂
- ・ 持ち寄りの本をおいて「小さな図書館」機能を持たせる
- ・ 紙芝居や読み聞かせ、戦争体験の共有などを行う

目的

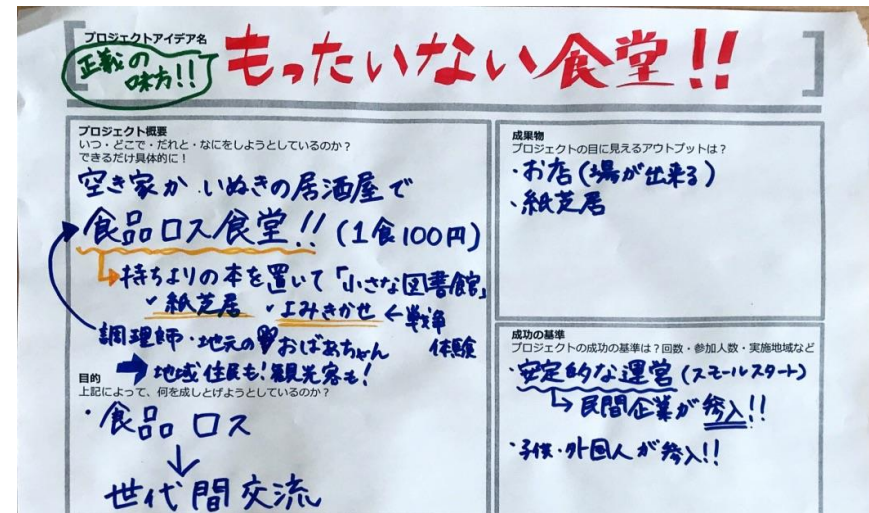
- ・ 食品ロスの課題解決を通じて、世代間交流を生む

成果物

- ・ お店（場ができる）
- ・ 紙芝居

成功の基準

- ・ スモールスタートで、安定的な運営
- ・ 民間企業・子ども・外国人が運営に参画する



3.4.5 深沢ミュージックフェスティバル

共創を生み出す問い

どうすれば、鎌倉に関わる人が生き生きと元気に深沢で過ごせるだろうか？

プロジェクトアイデア要約

子どもから高齢者まで幅広い年代の市民が参加できる音楽フェスを毎年開催し、好きなことを通じて人とつながり、活動を発信できる場をつくる

活動エリア

- ・ 深沢

プロジェクト概要

いつ？

- ・ 2020年～2030年

どこで？

- ・ 体育館から始めて、フェスのように

だれと？

- ・ 市民、シニアサークル、学生
 - ・ 企業
 - ・ 鎌倉にゆかりのあるミュージシャン
- 何をしようとしているのか？

- ・ 音楽フェス
- ・ 出店
- ・ オンラインコミュニティ

目的

- ・ 生き生き元気に発信する場の提供、好きなことが同じ人がつながる場づくり

成果物

- ・ イベント開催（年1回）
- ・ 動画配信、オムニバスアルバム
- ・ 移住、人のつながり

成功の基準

- ・ 2030年まで年1回開催
- ・ 参加者：2020年200人→2030年1万人
- ・ 動画登録：2020年参加者200人→2030年人口の50%
- ・ （音楽関係の）移住：2020年参加者1人→2030年人口の10人

プロジェクトアイデア名
深沢ミュージックフェスティバル

プロジェクト概要
いつ・どこで・だれと・なにをしようとしているのか？
できるだけ具体的に！

- ・ 2020年に始めて、2030年まで毎年
- ・ 体育館から始めて、フェスのように
- ・ 市民・シニア・学生、企業協賛、鎌倉にゆかりのあるミュージシャン
- ・ 音楽フェス、出店、オンラインコミュニティ

目的
上記によって、何を成しとげようとしているのか？

生き生きと元気に
「発信」の場の提供
「移住」の場の提供

成果物
プロジェクトの目に見えるアウトプットは？

- ・ イベント開催（年1回）
- ・ 動画配信
- ・ オムニバスアルバム
- ・ 移住
- ・ 人のつながり

成功の基準
プロジェクトの成功の基準は？回数・参加人数・実施地域など

- ・ 2030年まで年1回開催
- ・ 2020年参加者200人→2030年1万人
- ・ 動画登録 2020 200人→2030 人口50%
- ・ 移住（音楽関係） 2020 1人→2030 人口10人

3.4.6 大船フェス

共創を生み出す問い

どうすれば、地域への愛着・地域性を育む学校教育プログラムができるだろうか？

プロジェクトアイデア要約

大船在住の小中高大学生が中心になって文化祭のようなお祭りを毎年開催し、地域の中でのつながりを増やし、地域への愛着を育む

活動エリア

- ・ 大船

プロジェクト概要

いつ？

- ・ 10月～11月にかけて、年1回

どこで？

- ・ 大船中学校、鎌倉女子大

だれと？

- ・ 大船在住の小中高大学生（主催者）
- ・ 企業、お店、一般の大人

何をしようとしているのか？

- ・ 食べ物（大船軒や富岡商店など企業の参加）
- ・ 展示（コンテスト）
- ・ 催し物（地域の懇談会）
- ・ 演劇（大船高校）

目的

- ・ 地域の問題の共有
- ・ 様々な年代の交流
- ・ 課題解決の共創の場、課題解決のプロセスを通じて地域に愛着を育む

成果物

- ・ 現実に開催すること
- ・ 毎年継続的に行われること

成功の基準

- ・ 大船で始まったものが市全域に広がる
- ・ このイベントをきっかけに将来大船で暮らす学生が増える
- ・ 「大船が好き」というアンケート回答が増える
- ・ 大船フェスの実施日が地域の祝日になる

プロジェクトアイデア名 大船フェス 大船フェス!!	
プロジェクト概要 いつ、どこで、だれと、なにをしようとしているのか？ できるだけ具体的に！ いつ：10月～11月にかけて、年1回 どこで：大船中学校、鎌倉女子大 だれと：主催者 大船在住の小中高生・高校・大学生 企業、お店、一般の大人 なにを：食べ物、展示、催し物、演劇、課題解決 企業の参画、コンテスト、地域の懇談会、 大船軒、富岡商店	成果物 プロジェクトの目に見えるアウトプットは？ ・ 現実に開催すること ・ 毎年継続的に行われること
目的 上記によって、何を成し上げようとしているのか？ ・ 地域の問題の共有 ・ 様々な年代の交流 ・ 課題解決の共創の場 ・ 課題解決のプロセスを通じて地域に愛着を育む	成功の基準 プロジェクトの成功の基準は？回数・参加人数・実施地域など ・ 大船で始まったものが市全域に広がる ・ このイベントをきっかけに将来大船に暮らす学生が増える ・ 「大船が好き」というアンケート回答が増える ・ 大船フェス実施日が地域の祝日になる

3.4.7 市民で作るバスルート

共創を生み出す問い

どうすれば、玉縄に世代を超えて地元住民と外の人が集まる場を作れるだろうか？

プロジェクトアイデア要約

3000～4000人の居住地域一つの単位として、生活時間帯にショッピングセンターや幼稚園、介護施設などをまわり、市民の足となるようなバスルートをつくる

活動エリア

- ・ 玉縄

プロジェクト概要

いつ？

- ・ 昼間、生活時間帯

どこで？

- ・ 住宅居住地域、3000～4000人を1単位
- ・ 玉縄・関谷エリア

だれと？

- ・ 子育て世代、高齢者、障がい者
- ・ バス会社
- ・ ショッピングセンター、幼稚園、介護施設、福祉施設

何をしようとしているのか？

- ・ 交通手段の改善で地域の居住性を高める

目的

- ・ 住んでいる市民の生活の足を創る
- ・ 居住区の新しい魅力発信

成果物

- ・ コミュニティ内で生活時間帯に市民の足が確保されたルート・仕組みができる

成功の基準

- ・ 市民利用率
- ・ 満足度
- ・ 経済効率性
- ・ 環境負荷

The image shows a handwritten project idea summary on a form. The title is '市民で作るバスルート' (Bus Route Created by Citizens), which is circled in red. To the right of the title, there is a red note: '交通手段の改善で地域の居住性を高める!!' (Improve living conditions in the area by improving transportation!!). The form is divided into several sections with handwritten answers:

- いつ？** (When?): 昼間 生活時間帯 (Daytime, Living Time Zone)
- どこで？** (Where?): 住宅居住地域 玉縄関谷エリア (Residential Area Yamanagakanyo Area)
- だれと？** (Who?): 子育て世代 高齢者(障がい者) バス会社 ショッピングセンター 幼稚園 介護施設 福祉施設 (Parenting generation, Elderly (disabled), Bus company, Shopping center, Kindergarten, Nursing facility, Welfare facility)
- 何をしようとしているのか？** (What are you trying to do?): 住んでいる市民の生活の足を創る 居住区の新しい魅力発信 (Create a living base for residents, Promote the new charm of the residential area)
- 成功の基準** (Success criteria): 市民利用率 満足度 経済効率性 環境負荷 (Citizen usage rate, Satisfaction, Economic efficiency, Environmental load)

3.4.8 目に見える鎌倉SDGs

共創を生み出す問い

どうすれば、あなた（大人）の生きている姿を子どもたちに見せたいだろうか？

プロジェクトアイデア要約

SDGsが達成された鎌倉の未来の姿を壁画に描くワークショップを開催。その壁画を市役所ロビーなど開かれた場所に展示し、訪れた市民がさらに加筆することで、多くの市民とまちのビジョンを共有する

活動エリア

- ・ 全市横断

プロジェクト概要

いつ？

どこで？

- ・ 市役所ロビー

だれと？

- ・ イラストを描ける人
- ・ 市民

何をしようとしているのか？

- ・ 鎌倉でSDGsが達成されたらどんなまちになるのか壁画に描くワークショップを実施し、成果物を市役所ロビーに展示・加筆してもらう
- ・ 地下道ギャラリーでも展示
- ・ モニュメント化して展示
- ・ 更新を続ける

目的

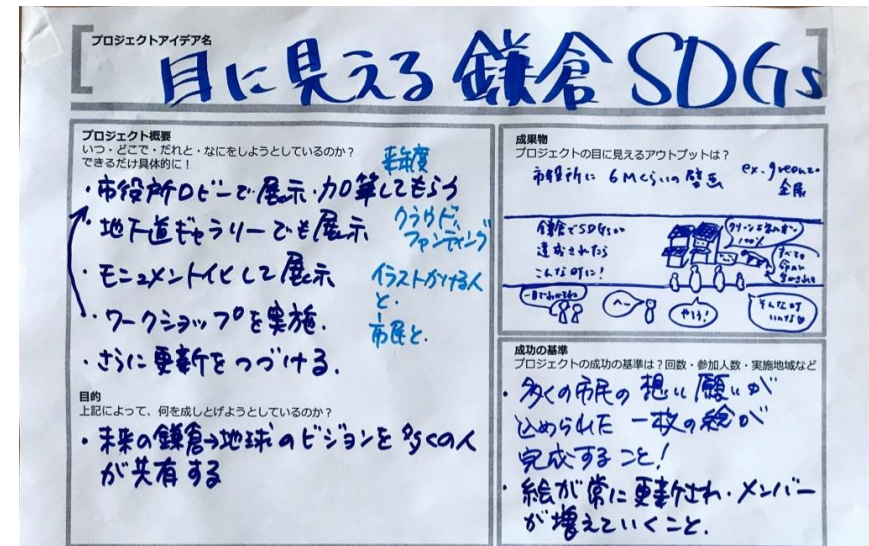
- ・ 未来の鎌倉・地域のビジョンを多くの人が共有する

成果物

- ・ 市役所に6mくらいの壁画

成功の基準

- ・ 多くの市民の想い・願いが込められた1枚の絵が完成すること
- ・ 絵が常に更新され、メンバーが増えていくこと



3.4.9 市議会子ども参加DAY～7世代先の鎌倉のために

共創を生み出す問い

どうすれば、あなた（大人）の生きている姿を子どもたちに見せたいだろうか？

プロジェクトアイデア要約

子どもたちが鎌倉市のことを考える「子ども幕府」を立ち上げ、子ども幕府の代表者が市議会に参加する

活動エリア

- ・ 全市横断

プロジェクト概要

いつ？

どこで？

だれと？

- ・ 鎌倉市
- ・ 鎌倉市議会
- ・ 教育現場

何をしようとしているのか？

- ・ （子どもの）議会参加
- ・ 子ども幕府立ち上げ

目的

- ・ 子どもが「鎌倉市」を自分の頭で考えられるようになる
- ・ 大人も子どもに見られることで誇りに思う

成果物

- ・ 子ども幕府の立ち上げ

成功の基準

- ・ 子ども幕府代表の席ができる（歴史も学ぶ）

The image shows a handwritten project summary form. At the top, the title is written in blue ink: "市議会(本番)子ども参加DAY～7世代先の鎌倉のために". Below the title, there are four main sections with handwritten text in blue ink:

- プロジェクト概要** (Project Overview): "いつ・どこで・だれと・なにをしようとしているのか？ できるだけ具体的に！" (When, where, with whom, and what are we trying to do? Be as specific as possible!). The answer is: "市議会と教育現場で 議会参観 子ども幕府立ち上げ" (City Council and Education Field, Council Observation, Children's幕府 Establishment).
- 成果物** (Deliverables): "プロジェクトの目に見えるアウトプットは？" (What are the visible outputs of the project?). The answer is: "子ども幕府立ち上げ" (Children's幕府 Establishment).
- 目的** (Purpose): "上記によって、何を成しとげようとしているのか？" (What are we trying to achieve through the above?). The answer is: "子どもが鎌倉市を自分の頭で考えられるようになる 大人も子どもに見られることで誇りに思う" (Children can think about Kamakura City on their own, and adults can feel proud to be seen by children).
- 成功の基準** (Success Criteria): "プロジェクトの成功の基準は？回数・参加人数・実施地域など" (What are the success criteria for the project? Number of times, number of participants, implementation area, etc.). The answer is: "子ども幕府代表者の席ができる (歴史も学ぶ)" (A seat for the Children's幕府 representative can be made (history can also be learned)).

3.4.10 My避難所

～1人で行けるもん。近所の人も連れて行けるようになるもん♪

共創を生み出す問い

どうすれば、鎌倉市民全員が防災訓練に参加するようになるだろうか？

プロジェクトアイデア要約

自宅を出発し、地域のチェックポイントをまわり、自分の避難所でゴールする防災イベントを年1回開催することで、市民が避難所まで1人で行けるようにするとともに、防災意識を高める

活動エリア

- ・ 今泉台

プロジェクト概要

いつ？

- ・ 町内会のお祭り、イベント

どこで？

- ・ 自分の住む町内会・自治会エリア

だれと？

- ・ 防災委員
- ・ 町内会役員、自治会役員
- ・ 市内NPO、市内企業

何をしようとしているのか？

- ・ 自分の家を出てから地域のチェックポイントを回り、ゴールは自分の避難所
- ・ 自分の避難所の場所を覚える
- ・ SDGsバッジやしなで使える防災ポイントなど、ノベルティで参加促進

目的

- ・ 避難所まで1人で行けるようになる
- ・ 防災意識を高める「はじめの一步」、防災訓練参加に繋げる

成果物

- ・ 防災意識が高まり、防災訓練の参加につなげる

成功の基準

- ・ 子どもが参加することで親も参加
- ・ 年に1回開催
- ・ 今泉台から始め。横展開される
- ・ 居住地区の40%参加からスタート

プロジェクトアイデア名
My避難所. ひとりでいけるもん → 近所の人を連れていけるようになるもん (自助) (共助)

プロジェクト概要
いつ・どこで・だれと・なにをしようとしているのか？
できるだけ具体的に！

いつ 町内会のお祭り、イベント
どこ 自分が住む町内会・自治会エリア
だれと 防災委員、町内会役員、自治会役員、市内NPO、市内企業

何をしようとしているのか？
自分の家を出てから地域のチェックポイントを回り、ゴールは自分の避難所
自分の避難所の場所を覚える
SDGsバッジやしなで使える防災ポイントなど、ノベルティで参加促進

目的
上記によって、何を成しとげようとしているのか？
避難所まで1人で行けるようになる
(⇒防災意識を高める「はじめの一步」)
⇒防災訓練参加につなげていく

成功の基準
プロジェクトの成功の基準は？回数・参加人数・実施地域など
小児に参加してもらう事で親も参加する。
年に1回開催(継続)
今泉台(モデル)⇒横展開
居住地区の40%参加からスタート

3.4.11 宿泊型の防災訓練 STAY&SAFE

共創を生み出す問い

どうすれば、鎌倉市民全員が防災訓練に参加できるようになるだろうか？

プロジェクトアイデア要約

鎌倉を4地区に分け、それぞれの地区ある学校で、夏休みに小中高校生とその家族、町内会防災部が協力して宿泊型の避難訓練を行い、より多くの人に参加してもらうと同時に地域のつながりをつくる

活動エリア

- 鎌倉市全域

プロジェクト概要

いつ？

- 夏休み

どこで？

- 鎌倉の4地区

だれと？

- 小中高校生とその家族
- 町内会防災部

何をしようとしているのか？

- 炊き出し、宿泊、障害者の理解など

目的

- 地域の防災訓練にできるだけ多くの人に参加してもらう

成果物

- 参加する全員が顔見知りになって普段の「挨拶」ができる関係になり、地域の結びつきができる（共助）

成功の基準

- 鎌倉全域を4地区に分け、それぞれ最低1校で実施
- 各校100人参加を目標とする

The image shows a handwritten project idea summary on a form. The title is 'STAY & SAFE' in red. The project name is '宿泊型の防災訓練を実施する' (Implementing stay-type disaster training). The summary is written in blue and black ink. It describes the project's goal, location, and target audience. The project is to be implemented during the summer vacation in the four districts of Kamakura. The target audience includes elementary, middle, and high school students, their families, and the neighborhood disaster prevention department. The goal is to increase participation in disaster training and build community ties. The success criteria are that at least one school in each of the four districts implements the training, with a target of 100 participants per school.

プロジェクトアイデア名
STAY & SAFE !!
宿泊型の防災訓練を実施する

プロジェクト概要
いつ・どこで・だれと・なにをしようとしているのか？
できるだけ具体的に！

夏休みに、鎌倉の4地区
で小・中・高校生とその
家族と町内会防災部
が協力して参加、実施
(炊き出し・宿泊・障害者の理解
etc.)

成果物
プロジェクトの目に見えるアウトプットは？

参加する全員が顔見知り
になり普段の「挨拶」が
出来るようになって、
地域のつながりにつな
がっていく。

成功の基準
プロジェクトの成功の基準は？回数・参加人数・実施地域など

鎌倉全市域の4地区
にそれぞれ最低1校で
実施する。各校100人
参加を目標にする。

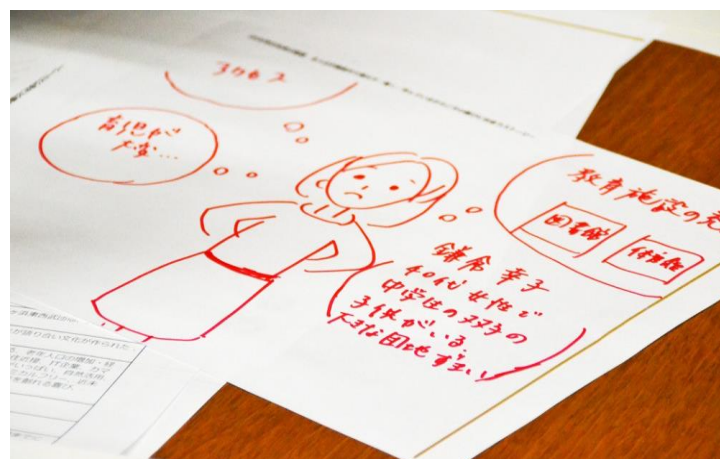
4. まとめ

まとめと今後に向けて

まとめと今後に向けて

参加者の感想①

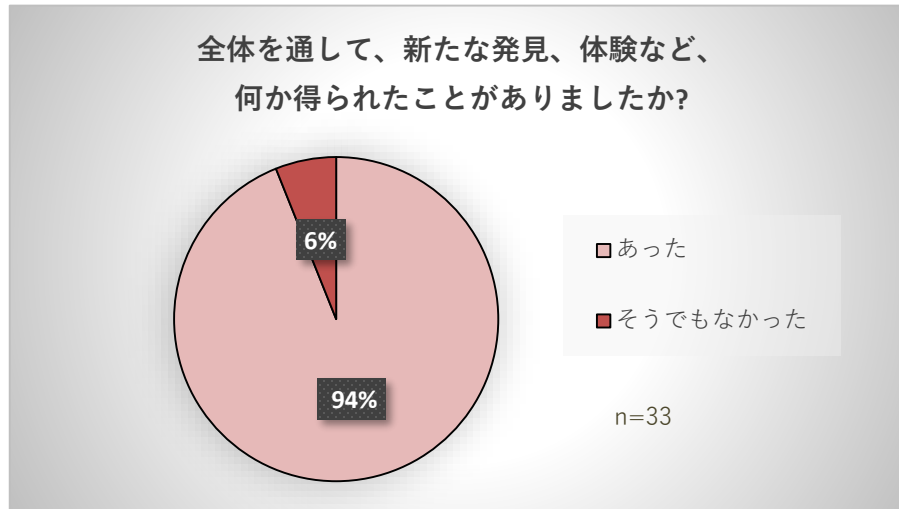
- 参加者の声として、ワークショップが楽しかった、という声が多く聞かれたことも特徴的であった。
- 毎回、グループでの発表など即興的なことも求められたが、日ごろからこのような活動に慣れている方が多かったのか、絵を描く人、素敵なキャッチコピーを考える人、しゃべりが上手な人、アイディアや知識が豊富な人など、一人一人が強みを発揮し、とてもハイレベルなワークショップとなった。



まとめと今後に向けて

参加者の感想②（第4回終了後に行ったアンケート結果）

Q1.全体を通して、新たな発見、体験など、何か得られたことがありましたか？



あった	31
そうでもなかった	2

- 新しい出会いがあった。
- 防災関係について。
- 友だちができた。
- わりと短時間でアイデアがまとまるものだった。参加者のレベルが高い？ファシリテーションが上手？
- 皆さんが思い描いているものを共有できた。
- たのしい視点を得られた。
- 自分が今生きている狭い世界から視野を広げることができた。
- 市内の良い点の発見が多数あった。
- 色んな方の鎌倉でどう暮らしていきたいか、何が大切かという考えに触れられた。

まとめと今後に向けて

参加者の感想②（第4回終了後に行ったアンケート結果）

Q1.全体を通して、新たな発見、体験など、何か得られたことがありましたか？（続き）

- ・ 場づくり学び、鎌倉の魅力発見、課題とアイデアを得られた。
- ・ 市に対してのあつい想いを感じれた。
- ・ 鎌倉全域の課題感の共有、どんな人や思いがあるのかを知った。
- ・ 鎌倉に想いを持った方が大勢いること、ワークショップを通して、色々な意見が聴けた。
- ・ 4回のワークショップの進め方、最後のクラウドファンディング形式がおもしろかった。
- ・ 知識、アイデア、地域の仲間づくりを得られた。
- ・ 対話、討論等のスキルが得られた。
- ・ 考えている人ってたくさんいるんだ、ということが分かった。
- ・ いろいろなつながりができた。
- ・ 学校内の問題も、地域でなら解決できることもある!など、地域で問題を共有することの重要性を感じた。
- ・ 鎌倉市の色々な人と話をして考えて答えて出すことができ、今後につながる場だった。
- ・ 男性高齢者の一方的な話や固定化された価値観をどうほぐしつつ能力を引き出すか。
- ・ 新しい人間関係ができた。
- ・ 同じ想いを持った方とのつながりができた。

※文章を一部修正し掲載しています。

※具体的な回答のあった方のコメントを掲載しているため、回答者数とコメント数は一致しません。

まとめと今後に向けて

参加者の感想②（第4回終了後に行ったアンケート結果）

Q2.全体を通して、印象深かったことは何ですか？

- 同じような考え方が沢山いて心強かったこと。
- メンバー全員活気があふれていたこと。
- みんなの意見。
- 鎌倉の底力、民力の高さを感じたこと。
- ニーズと資源をうまく結びつけていたと思ったこと。
- WORKSHOP STYLE。
- 様々な人の意見を聞くことができ、新しい考え方を想像することができたこと。
- 活発な意見、アイデア交換。
- 参加者のやる気と、行政の方がこんなに熱意を持って計画に市民の声を反映させるという行動をされているのは初めてみて感銘を受けたこと。
- 鎌倉の人々は、欲しい未来は自分で創ろうとしていること。
- 未来の鎌倉へどのような取組みができるか、子ども、環境の面で話したこと。
- 市役所にステキな人たち（知性、情熱、行動）がいること、工学やフューチャーセッションを採用し、工夫して場を設け、成功させたこと。
- 参加型のワークショップの進め方。
- 鎌倉の未来について何が出来るか?たくさんの人達と共に考え向かいたい方向性がわりと共通していたこと。

まとめと今後に向けて

参加者の感想②（第4回終了後に行ったアンケート結果）

Q2.全体を通して、印象深かったことは何ですか？（続き）

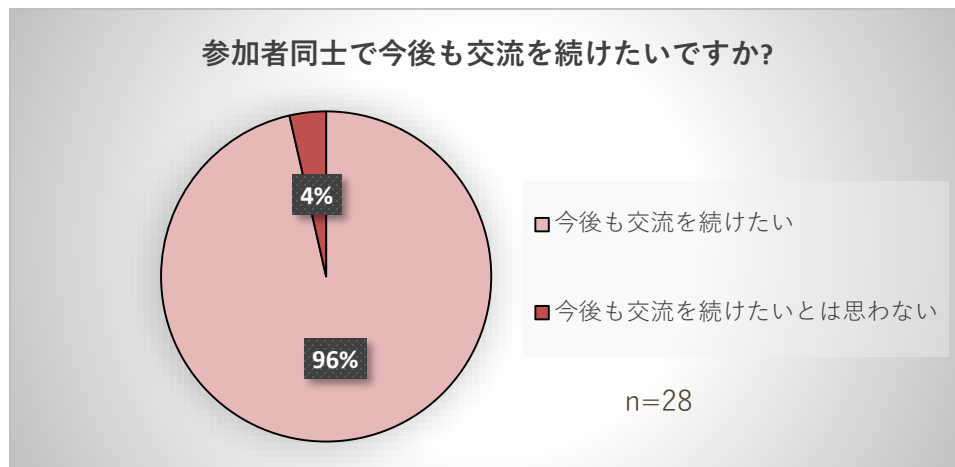
- 行政が水平展開として同じ目線で対話できたこと。
- 勢いのいい将来をになう若者達の前向きな姿勢がみられたこと。
- 現状分析、問題点の摘出が抜けていたこと。
- 行政の方達の仕事ぶりの一端をかいま見ることができてよかったこと。
- 全く知らない人と具体的なアイディアを出すプロセスが面白かったこと。
- 具体的な内容は考えやすかったこと。
- 鎌倉の中の問題で、知らないことばかりだった。市民でも知らない魅力がたくさんあったこと。
- 参加している方それぞれが、未来について真剣に考えるエネルギーと鎌倉愛を強く感じたこと。
- 第2回の発表が起承転結のストーリー型だったので、発表の機会、しくみとしてチームの平等感と楽しさが出ていたこと。
- 市議会に子どもを参加させて、大人は自分の行動を省みて、子どもは自分もまちのことか政治について自分で考える習慣がつくようにする、というアイデアが目から鱗だったこと。
- とても楽しかったこと。
- ワーク手順が、PJを立てやすいようになっていてすごく学びになったこと。
- 第4回目の市民対話。

※文章を一部修正し掲載しています。

まとめと今後に向けて

参加者の感想②（第4回終了後に行ったアンケート結果）

Q3.参加者同士で今後も交流を続けたいですか？理由も教えてください。



今後も交流を続けたい	27
交流を続けたいとは思わない	1

- 引き出しが多くなりそうだった。
- 興味深い人が多かったから。
- ご意見が大変参考になったから。
- 勉強になったから。
- 実現したプロジェクトの手伝いが必要なときはお手伝いしてみたいから。
- 好きなことが似ていて、違う特技や職業の人たちと出会えたから。
- 資金などはあまり出せないかもしれないけど、鎌倉を良くするために、協力できたらうれしいから。
- このワークショップで終わらせるのはもったいないので続けていきたいから。
- 今後も討論をしていきたいから。
- 面白そうだから。
- 共通の目的があったから。
- P J 運営で成果を出したいから。

※文章を一部修正し掲載しています。

※具体的な回答のあった方のコメントを掲載しているため、
回答者数とコメント数は一致しません。

まとめと今後に向けて

外部ファシリテーターの存在

- 株式会社フューチャーセッションズという外部のファシリテーターの役割が大きかった。各回のまとめも、同社がビジュアル的にきれいにまとめたものをHPにアップすることができ、参加者の満足度も高かったと推察される。
- 第2回以降で初めて参加した人も多く、毎回冒頭で、この市民対話の役割や目指すもの、ワークショップを進めるうえで大事にすることなどを、繰り返し伝えた。
- 株式会社フューチャーセッションズだけでなく、市職員が直接、参加者に語り掛けるシーンも多くなった。



経験豊富なファシリテーターが
参加者のモチベーションを引き出し、良い雰囲気の中で進行



ビジュアル的にきれいにまとめた各回の報告書（抜粋）

まとめと今後に向けて

全4回の開催を振り返って

- 全体として、充実したワークショップであったが、わずか3か月間、計4回の開催であった。
- 特に4回目は出席者数が少なかった。3回目に設定したチームごとの活動であったが、だれも出席者がおらず、成立しなかったチームも見られた。開催曜日や場所が変わった影響もあったのかもしれない。
- 次年度につなげるため、3月にはスピノフ企画を実施した。市民対話よりも人数が少なく、話がしやすかった効果がみられた。
- 今後の活動継続のため、連絡先の交換を促したが、強制はできなかった。結果、チームによって差が見られた。また連絡手段についても、フェイスブック、メール、ラインなど、世代によって主に使用する連絡手段が異なり、連携が難しかったようにも見受けられた。

今後に向けて

- 振り返ってみると、平成30年度に実施した市民対話では、共創関係を構築するほんの入り口部分の取り組みが実施できたに過ぎない。継続した共創関係性を構築し、新しいステークホルダーを巻き込みながら活動続けることは非常に難しく、平成31年度以降の活動こそ大事になってくる。
- 平成31年度には、外部ファシリテーターの委託を行う予定がない。こうした活動において、多くの自治体ではファシリテーションの委託費を継続して確保し続けることは困難であり、いずれは参加者もしくは市職員の中から、そうした役割が果たせる人物を見出し育てる、もしくはプロボノで参加してくれる第三者を探すなどの対応が必要になってくる。今後、試行錯誤が必要である。
- 委託事業者からは、今後に向けて活動が見える化するプラットフォームの構築や市職員の役割などについて提案を受けているところであり、参考としていきたい。
- 今後は、4回の市民対話でできたつながりをもとに、継続した共創活動が行えるよう、参加者の皆さんと力を合わせて工夫を凝らしていきたい。

鎌倉の未来について考え
行動するためのワークショップ



2018.12~2019.3 ~ ∞

鎌倉の未来について考え
行動するためのワークショップ